

TOYO UNIVERSITY

東洋

2023

令和5年度



東洋大学甫水会報 Vol.162

ごあいさつ

学校法人東洋大学 総長 福川 伸次	1
学校法人東洋大学 理事長 安齋 隆	1
東洋大学 学長 矢口 悦子	2
学校法人東洋大学 常務理事/ 甬水会常任理事 寺田 信幸	2

就職座談会

(株)エービーシーエデュケーション
取締役 チーフコンサルタント
キャリアコンサルタント 山本 みどり
学校法人東洋大学 常務理事 寺田 信幸
東洋大学 就職・キャリア支援部長 前田 孝

就職座談会の様子は
動画でご覧いただけます ▶



キャンパスガイド

学年暦

大学事務局の窓口から

渡航を伴う国際交流プログラムの再開と ウクライナからの留学生受け入れ	14
国際部長 根岸 哲也	
「修学支援新制度と本学における 奨学金支援のトピック」	15
就職関連	16
就職・キャリア支援部 前田 孝	
納付金（学費等）について	17
経理部財務課	

甬水会活動

2022年度事業報告	18
Ⅰ. 本部事業関係	
Ⅱ. 支部事業関係	
2023年度事業計画	21
Ⅰ. 本部事業関係	
Ⅱ. 支部事業関係	
Ⅲ. 甬水会収支関係	

本部行事・支部行事

沿革・寄贈

甬水会役員名簿

本部役員・評議員・顧問	27
-------------	----

東洋大学グローバルサービス株式会社 からのご案内

社会貢献センター/生協グッズ/ 甬水会ウィンドブレーカー

学部・学科の再編について/ HPのご案内/甬水会からのお願い



学校法人東洋大学 総長

福川 伸次



学校法人東洋大学 理事長

安齋 隆

日本再生に新しい風を起こそう

平成から令和にかけて、日本経済の停滞が続いています。日本は経済規模で2023年にドイツに抜かれ、2025年前後にはインドに並ばれるとの予測があります。一人当たりのGDPで見ると台湾、韓国に追い越されると見込まれています。

岸田内閣は、「新しい資本主義」の確立を掲げ、「賃金と成長の好循環」を確立しようと経済界に5%前後の賃上げを呼びかけています。日本企業が持続的にこれに応えられるか予断を許しません。日本の生産性がOECDの38カ国中28位と低迷しているからです。日本企業がイノベーション力を再生し、経営革新を実現しなければ、日本経済の地位はさらに低下してしまいます。

国際情勢を見ますと、ウクライナへのロシアの侵攻が続いています。米中の覇権争いも世界の不安材料です。世界は、正義、自由、法治、人権といった基本的価値を軸にグローバリズムの再生を求めています。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）はワクチンの普及などによってようやく沈静化の方向が見えてきました。しかし、別の新たな感染症の不安が生ずるかもしれません。トルコとシリアを襲った激しい地震は人類に改めて自然災害の厳しさを教えています。

地球温暖化など環境の劣化はますます深刻になりつつあります。本学は、国連が推進しているSDGsの展開に取り組んでいますが、その成果を効果的に実行しなければなりません。

こうした課題解決の根底にあるものは、人間価値尊重の哲学であり、国際協調の精神であり、人間能力高揚の戦略であります。本学は創立者井上円了先生の教えを活かし、国際社会が協調の精神と革新の価値観を取り戻すことに貢献しなければなりません。

本学は教職員と学生の協力によって教学水準の維持向上に努めております。甫水会会員の皆様の日頃からのご支援に感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

他者のために生きる

甫水会会員の皆様には、本学支援のために日頃から種々温かいお心遣いをいただき誠に有難うございます。

ところで、人生における人との出会いには宿命なもの、それから自分の選択で出会うものの2つがあると思っています。生まれ、親、兄弟などは宿命そのものであり、自分に選択の余地はないでしょう。高校、大学へと進むに伴い、いよいよ自分の選択による出会いが始まります。

そもそも大学は他者のために自己を磨く場であり、大学時代は自己を磨き続けることが肝要であると考えています。自己を磨くためには努力という砥石が不可欠であるとともに、大学時代に出会う友人は自己の磨きを促す貴重な砥石的存在です。

社会人になると他者のために懸命に生きることに喜びを感じる自分の生き様を見ることになります。私にも様々な方との出会いやご縁がありました。社会人になって37年間は国民のためと念じつつ公職を務めました。その後17年間は新銀行の経営に携わり、お客様にいかんにか喜んでもらうかを経営の最大の柱と位置づけ技術革新を積極的に取り入れました。そして2018年、本学理事長に就任しました。本学の創立者である井上円了先生によって掲げられた建学の精神の1つとして「諸学の基礎は哲学にあり」という言葉があります。私にとって本学は学生のために生きる場所であり、学生のために自分を磨き続ける場所であると理解しています。

ここ3年間、新型コロナウイルス感染症に振り回されましたが、引き続き注意を怠ることのないようにしていかなければなりません。

新型コロナウイルス感染症と並んで世界中が悩まされてきたのは、地球温暖化と異常気象により多様な動植物が大被害を受けているという現実です。またこれに輪をかけるような戦争も起こってしまいました。私たちは若い世代の未来のためにこれらの問題に立ち向かっていきたいと思っています。



東洋大学 学長

矢口 悦子



学校法人東洋大学 常務理事
浦水会 常任理事

寺田 信幸

困難を乗り越えるための知恵と仲間を

浦水会の皆様には、いつも大変お世話になっております。引き続きしておりますコロナ禍における大学の対応につきましても、多々あたたかいご支援を賜りまして、心より御礼申し上げます。

多方の予想に反して、新型コロナウイルス感染症は、依然として収束の見通しが立たない状況が続いております。そのような状況下ではありましたが、2022年度春学期からは、本学でも学生の安全と最新の感染状況に配慮しながら、対面での授業を基本とし、様々な活動を段階的に再開することができました。学生の皆さんは、こうした変化に対応しながら学びを続け、キャンパスの各所で嬉しそうに友人たちと(距離を取りながら)語る姿を多く見かけることができました。にぎやかな学生たちの姿があってこそそのキャンパスであることをしみじみと感じております。

さて、このコロナ禍にあって、様々な夢をあきらめざるを得なかった学生たちも多かったです。当然ながら落ち込んでしまったことと思います。しかし、その状態から、どのように自分を立ち直らせていくかを模索する中で、あるいは関心を広げて何かに打ち込むことで、新たな何かを発見した学生も多いでしょう。時には他者の助けを受け、また、逆に困っている他者を助けるという経験もあったかもしれません。もちろん孤独の中で、本を読み思索を深める時間を得て深い学びを重ねた、という学生もいると思います。そうした経験をじっくりと振り返って、次の一步を踏み出すことのできる力、今、そうした力が問われているようです。「つらいのは自分だけではない」「困っている人を支える力を持ちたい」そんな声が学生たちから聞こえてくるたびに、本学の創立者井上円了先生の思想を受け継ぐ「他者のために自己を磨き」「活動の中で奮闘する」という東洋大学の心が確実に継承されていることを感じます。

昨年、2022年4月から成年年齢が18歳となりました。しかしながら、学生たちは一気に成人として成熟するわけではありません。とりわけ、他者と密接にかかわり、意見をぶつけ合い、多様性を認める中で自らの価値観を確立する機会が、コロナ禍によって制限されてきた学生たちにとっては、これからの学生生活が大人としての自覚を深める場になると思います。私たちは、いろいろな方法を駆使して、学生たちが思いっきり学び、語り合い、議論し、泣いたり笑ったりしながら、自己を見つめ、しっかりと成長する場を提供したいと考えています。そして、学生一人一人が、自らの軸を打ち立て、これからの人生で何度も遭遇するであろう困難を乗り越えるための「知恵」と「仲間」をみつけてほしいと願っております。

変革の東洋大学

東洋大学浦水会会員の皆様には、常日頃から東洋大学の発展にご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

2022年度は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大に加え、ロシアによるウクライナ侵攻に翻弄された年であったように思います。そのような中にあっても、東洋大学は教育DXを推進しスマートフォンを学生との新たな接点とするCLMS(Campus Life Management System)アプリの開発や本学既存ITシステムとのデータ連携・利活用を実現するための環境整備を進めてきました。また、ウクライナからの交換留学生および研究者を受け入れ、「学びを止めない」を合言葉に教職員、学生が一丸となって様々な取り組みを展開しています。

スポーツでは、女子サッカー部が第31回全日本大学女子サッカー選手権大会で初優勝、ボクシング部は第76回全日本大学ボクシング王座決定戦で2回目の優勝を飾り、全日本ボクシング選手権大会では金メダル2人、銀メダル1人を含む9名がメダルを手にしました。ラグビー部は1部リーグ昇格1年目で全国大学ラグビーフットボール選手権への出場を果たしました。

大学としては、2023年4月に福祉社会デザイン学部、健康スポーツ科学部、大学院健康スポーツ科学研究科、TOYOスポーツセンター(TSC)が赤羽台キャンパスでスタートしました。ソフト、ハードの両面から「福祉社会のデザイン」、「健康スポーツ科学の実践」の一大拠点として、関連する社会課題の解決に取り組んでまいります。TOYOスポーツセンターは、①スポーツを「する」人「みる」人「ささえる」人の育成 ②スポーツを通じた「グローバル人材」の育成 ③スポーツに関する「学術的アプローチ」の展開 ④スポーツを通じた「地域連携」の促進、を強力に進めてまいります。グローバル教育においては、これまでのTOYO GLOBAL DIAMONDS構想に加え、2022年度採択になった文部科学省「大学の世界展開力強化事業」の推進など、引き続き積極的に展開してまいります。

一方で、近年はAIをはじめ様々な情報技術の発展が目覚ましく、昨年11月にOpenAIが公開した「ChatGPT」のユーザーは、ほんの3カ月で1億人以上にのぼり、変化が激しいといわれる情報通信の世界でも異常な伸びを示しています。この「ChatGPT」の出現は、世の中の様々な価値観を変える予兆とも受け取れます。このように複雑な社会変動、混迷の時代であるからこそ、「哲学する」ことが大事になってきます。諸学の基礎である「哲学」を実践する。「他者のために自己を磨き、活動の中で奮闘する」新しい価値を創造できる人材の育成を推進してまいります。

就職座談会の様子は
動画でご覧いただけます▶



就職座談会

(株) エービーシーエデュケーション
取締役 チーフコンサルタント
キャリアコンサルタント

学校法人東洋大学
常務理事

東洋大学
就職・キャリア支援部長

山本 みどり × 寺田 信幸 × 前田 孝

【山本 みどり Profile】

清泉女子大学文学部国文学科(現:日本語日文学科)卒業。
株式会社エービーシー商会で人事採用・教育研修業務に従事。
研修講師、社員へのキャリアコンサルティング、学生へのキャリア教育や就職支援とともに、管理職として部下育成を行う。
2010年4月より株式会社エービーシーエデュケーションチーフコンサルタント。
エービーシーグループへの採用・教育業務、企業・大学に対する人材育成活動を行っている。

【資格】キャリアコンサルタント(国家資格)/2級キャリアコンサルティング技能士(国家資格)
JCDA認定CDA(Career Development Adviser)/イメージコンサルタント/ワインエキスパート



コロナ禍においても
「学びを止めない」という
キャッチフレーズのもとに
取り組んできました。

学校法人東洋大学
常務理事

寺田 信幸〔てらだ のぶゆき〕

山本 皆様、こんにちは、エービーシーエデュケーションの山本みどりと申します。平素はキャリアコンサルタントとして就職支援セミナーの講師等をしています。また、企業の採用教育部門を担当し、大学企業双方の情報を持って、大学生の就職活動をサポートしています。本日は、甫水会就職対談の司会を務めさせていただきます。本日の座談会は甫水会担当常務理事でもある寺田信幸常務理事と前田孝就職・キャリア支援部長とともに進めてまいります。

寺田 よろしくお願ひします。

前田 よろしくお願ひします。

山本 本日の対談でございますが、現在の就職活動と保護者のかかわり方をテーマに、大きく3つに分けて進めてまいります。まず1点目は現在の東洋大学と就職先の傾向について、2点目はコロナによる就職活動と企業の変化について、そして3点目が東洋大学の就職・キャリア支援と低学年からの学生生活の送り方について、この3点のテーマで進めてまいります。

まず1つ目のテーマですが、現在の東洋大学と就職先の傾向についてお話を伺いますが、その前に、寺田常務理事から東洋大学の強みについて伺います。

東洋大学の強みって何ですか？

寺田 今回のこのパンデミック、新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、大学の教育は非常に大きな影響を受けました。昨今、収東が見えてきたので、コロナの後どうしますかというところが今問われていると思います。東洋大学としては、いつでもどこでも授業に参加できるような高度なインフラの整備を進めています。コロナ禍においても「学びを止めない」というキャッチフレーズのもとに、教職員が一丸となって取り組んできました。その成果をさらに未来に向けて、より高度な教育環境を維持していこうと今取り組んでいます。

また、コロナ禍で対面での交流ができなかったことから、やはり一人一人と向き合って接触する必要を感じました。感性を育てるために人と人との触れあいを推進していくことを進めています。

本学では、グランドデザインという形で、2020年から2024年までの中期計画を進めています。その中では、創立者井上円了先生の「他者のために自己を磨く」「社会の活動の中で奮闘する」をキーワードにしています。

2022年度卒業生の主な就職先は？

山本 東洋大学の就職について、前田部長にお聞きします。

前田 昨今、IT・情報通信業への就職者が非常に増えてきました。東洋大学始まって以来のことですが、

3年生の秋ぐらいから
採用活動が本格化してきます。
春ぐらいから準備を
していきましょう。

(株)エービーシーエデュケーション
取締役 チーフコンサルタント
キャリアコンサルタント

山本 みどり〔やまもと みどり〕



2022年3月卒業生では業種別でトップになっています。この業界につきましては、2030年には人材が不足するということが懸念されており、採用意欲が旺盛です。文理問わず、また、資格のあるなしにかかわらず採用していきたいという方針です。

さらに、卸・小売業・医療福祉業、建設業、製造業と続きます。また、地方公務員行政職が多いというのも本学の特徴です。公務員採用試験については、各キャンパスで対策講座を実施しています。就職支援室には専門の相談員や職員がおりますので、是非気軽に相談していただきたいと思います。

教員についても本当に若干ではございますが、伸びてきているという状況です。

最近の仕事選びの傾向として、ワークライフバランスを重視するという学生が非常に多いと感じます。IT・情報通信業については、リモートワークを推奨している企業が多いということもあって、人気が高くなっていると思われます。

就職活動と企業の変化

山本 それでは続きまして、就職活動と企業の変化について話題を進めますが、まず、私から就職活動のスケジュールについてお話しいたします。

現状では、3年生の3月に広報を解禁と言われていますが、実際には3年生の秋ぐらいから企業の採用活動が本格化している現状です。そして今年からは少し就職活動の状況が変わり、学生さんは、3年生の夏ぐらいには本格的に就職活動に取り

組まなければいけなくなってくるかもしれません。就職活動には、大きく2つのステップがあります。事前準備と選考本番。いきなり就職活動を始めようと思っても、例えばエントリーシートがきちんと書けないといけなかったり、人前で堂々と話す力が必要だったり、何より筆記試験などもあるので、そのための準備をしておかなければいけない。その上でやっと選考に臨めるのです。ですので、ステップワンに向けて、3年生の春ぐらいにはある程度気持ちを就職活動に向けていかなければいけないのが、今の就職活動のスケジュールです。

現在、企業の雇用環境というのは、企業によって様々になっています。でも間違いなく言えるのは、企業の採用意欲は高まっていて、就職を考える学生さんにとっては良くなっている環境である、ということです。

就職活動と雇用環境の変化について

山本 前田部長にお聞きしたいのですが、コロナ禍からの就職活動の変化と企業の雇用環境の変化というのをどのように捉えていらっしゃいますか。

前田 まず、選考がオンラインになったことが一番大きな変化です。これまでの選考は、対面で行われていましたが、コロナ禍で選考過程の多くがオンラインになり、パソコン画面を通してコミュニケーションを図っていくことになりました。我々はずいぶん混乱しましたが、学生はそこをすっと乗り越えられたように



インターンシップへの参加は
就職活動の事前準備の
大切な時間になります。

東洋大学
就職・キャリア支援部長

前田 孝〔まえだ たかし〕

感じています。今後も引き続きオンラインと対面式の併用ということで進められていくと思います。説明会や初期選考はオンライン、最終面接に向かうに従って対面式となるのではと考えています。

山本 最終選考になると、採用側の決定権者は、キャリアを積んだ年配の方が多いので「やはり会わないとわからない」と対面にする企業がほとんどかと思えます。

インターンシップについて

山本 最近、インターンシップという言葉を目にするのが多くなっていますが、そのインターンシップに関する大学としての方針のようなものがあつたら、是非お伺いしたいと思います。

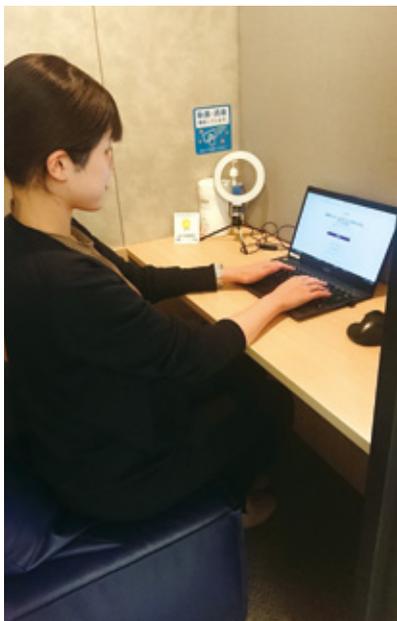
前田 インターンシップ参加について、学生のキャリア形成を考える上で、強く推奨していききたいところです。2022年10月までに内定を得て就職活動を終えた学生約1,200人にアンケートを取ったところ、約7割の学生が何らかの形でインターンシップに参加していました。これは市場調査とほぼ同様の結果です。企業での就業体験により、働くことの実際や意義、自己の適性、企業の実態、社会の有り様など、自ら体験し考えたことを就職活動に生かしたのではないかと考えています。インターンシップそのものも有益ですが、私たちはそのインターンシップの事前準備と、参加後のフィード

バックが非常に大切だと思っています。インターンシップは大きく捉えて就職活動の事前準備の大きな要素ですが、そもそも、何の目的で行くのか、自己分析をどのようにやるのか、自己PRの作成等、自分と向き合う非常に大切な時間だと思っています。その中で、自分の将来をどうしていきたいのかを考え、これからの行動につなげていける大きなきっかけにもなるので、インターンシップ事前準備の講座やフォローアップ講座を通じて、いろいろとアドバイスしていきたいと思っています。インターンシップを通じて、「自分にはこの能力が足りなかったかも」「こういうことができるようになればいいな」と気づければ、具体的に残りの学生生活でどのように身につけていくかという目標を立てることもできるでしょう。そこで、より力を身につけることができれば、結果として将来、社会で大きく活躍できる人材にもなっていけるのではないかと考えています。

山本 最近の学生の傾向については、どのようにお感じになっていますか。

最近の学生の傾向は？

前田 コロナ禍で、急遽リモート対応となった際の切り替えや、環境への順応性というのはすごいなと思いました。いろんなやり方も自分たちで調べていける。リサーチ力が非常に高い。それから、タイムパフォーマンスを重視するという傾向があります。欲しい情報があつたらすぐにでも手に入れたい。



オンラインブース内部：
大学からでもオンラインセミナー等に参加



オンライン専用個室防音ブース



全国の情報も手に取れる就職資料室

自分の時間を大切にしているので、行事への参加は決められた会場へ足を運ぶのではなく、自分の都合の良い時間に視聴することを選びたいという傾向が強いかと感じています。そういった傾向を理解しながら、私たちは今後の支援行事を考えているところです。あと、自分の価値観を持っている学生は多いですね。その自己の価値観を高めていきたいという学生に対応して、卒業生と連携したアントレプレナーシップ*起業家育成プロジェクトを構想しています。また、イノベーションを生む考え方や働き方ってどういうものかを考えるセミナー等を低学年のうちから実施していくことを計画しています。

*アントレプレナーシップ
急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出していく精神

企業が求める人材とは？

山本 企業が求める人材というテーマでも、ぜひお話を伺えればと思っています。私自身、企業で長年働いておりまして、企業はより一層、主体性を持つ学生さんを求めているように感じています。つまりは、自分で考え、判断し、選択する能力が求められている。一方で、そういった能力を持つ学生が少なくなっているようにも感じています。先ほど、アントレプレナーのお話も出しましたが、そのような方向性での取り組みを、東洋大学では今後強化されていく予定なのでしょうか。

前田 そうですね。本学としても、そういった分野についてはこれから強化をしていこうと考えており、現在、各部署で検討や実施を進めています。

山本 企業が求めている人材については、どのように感じていらっしゃいますか。

前田 本学の卒業生が就職した企業の採用担当者からも、山本さんがおっしゃるように、やはり企業としては主体性を持って一歩を踏み出し、自分で考え、行動できる人材をより欲しているのではないかと感じています。問題に直面した時でも、積極的に、果敢に挑戦できる人材は、間違いなく評価されていると思います。

山本 寺田常務はいかがでしょう。

寺田 前田部長の話に付け加えるのであれば、基礎的な力を持っている人材も求められているのではないのでしょうか。以前は入社してからトレーニングして自社の企業風土に合った育成をする研修期間が長くある企業がほとんどでしたが、昨今はそういった考え方ではなくなってきています。

山本 昨今は大学での学びを大切にしている、一生懸命学んでいる学生さんはとても多いですね。そういった傾向を把握した上で、企業の採用面接においても、大学での学びにフォーカスした質問をより重視するように変わってきているように私は感じています。

東洋大学のキャリア・就職支援の流れ

前田 具体的な支援について少しお話をさせていただきます。今、全キャンパスの就職・キャリアイベントはタイトルが500を超えております。低学年のキャリア支援やインターンシップ、就職支援、公務員対策、社会福祉士・介護福祉士などの資格に関わるもの、幅広い講座・セミナーを実施しています。支援行事は、基本的には全キャンパス共通で、その上にキャンパスや学部独自のものが加わります。川越キャンパスであれば、理工系学生向けの講座など、学問分野・志望傾向に特化した行事を展開しています。本学の学生であれば、どのキャンパスの行事・講座・セミナーにも参加でき、個別相談も全キャンパスの相談室を利用できます。また、希望があれば、低学年から就職支援講座に参加することもできます。それぞれの学生の意欲や到達度に対応して自由に利用できる柔軟な体制を整えています。(大学の支援につきましては10、11ページの資料をご参照ください。)

山本 低学年のお子様をお持ちの保護者の方から、今から将来に向けてどんなことをしたらいいのかというご質問をいただきますが、企業としては、就職活動のために大学頑張りましたとか、就職活動の準備を一生懸命してきましたという学生よりも、大学生活を充実させてきた、大学で一生懸命学んできたという学生が欲しいなと思っています。低学年からの大学生活の送り方として、何かアドバイスなどがあったらお願いします。

低学年からの大学生活の送り方へのアドバイス

寺田 まず、本を読んでほしいです。これからは読解力がないと競争に勝てない。本をよく読む学生とそうでない学生ではレポートを書いた時のレベルが格段に違います。本を読める人は理解力も高い。まずは本を読む、新聞を読む。要するに活字を読むことで読解力を身につけてほしい。それもある程度の分量を通して読む力をつけていただきたい。一冊の本を読み通すことによって初めて分かることがあるので、そこはとても大事です。さらに、



そこにある情報を使うことはできるのですが、その情報が正しいかどうかを見抜く力があるかどうかというところも重要なポイントになってきます。自分で得た情報の裏付けを取ることが大事で、それは本をきちんと読むことが基本にあると思っています。

山本 最後に保護者の方にお話ししたいことがありましたらお話しください。

保護者の皆様へのお願い

寺田 親子でコミュニケーションをきちんととってほしいですね。いや何をやってるかわかんないんですよっておっしゃるんですけど、聞いてあげてください。うるさがられてもいいから。自分の経験したことを伝えるってことも非常に大事だと思っています。親子でのコミュニケーションが希薄になっているような状況を



感じる時が間々あります。ぜひ保護者の皆さんには、意識的にお子様と接触するようにしていただきたいです。

山本 ありがとうございます。前田部長はいかがでしょう。

前田 全国の甫水会でもお伝えしていますが、**お子さんは保護者の言葉というのを、相当大きく強く受け止めています。**ですから、保護者の経験や職業観を話したり、優しい言葉をかけてください。せっかく内定を得た企業について、保護者からの一言で内定を辞退してしまう例もあります。ぜひ応援するような言葉もかけていただきたいと思っています。

山本 ちなみに、就職活動という観点から言うと、保護者の方が思っているよりも、学生たちは金銭的な負担が大きかったりもします。そういった経済的支援についてはいかがでしょう。

前田 今はオンラインでの選考がメインになりましたので、交通費は以前よりかからなくなったと思うのですが、一方で、例えばパソコンなど、通信環境を整備する費用が必要になることはあるかもしれません。あと、普段のアルバイトができなくなるということになると、学生たちは収入が減るわけですから、その点でのバックアップという意味で、経済的な支援もぜひ考えていただけると良いのかなと思います。

山本 私もやはり保護者に接する機会だと思うのですが、もしご家庭でその時代が変化しようと何だろうと、**うちの家庭として「これはゆずれない」というものがありましたら、早めにお子さんに伝えてください。**例えば、この職業に就いてほしい、あるいはこの職業は・・・、というのはあっても仕方がないものと思っています。一生懸命活動して頑張って内定を取ったのに、その段階で「その職業は…」と言われてしまって、そこからやり直すというのがかなり難しい状況になります。

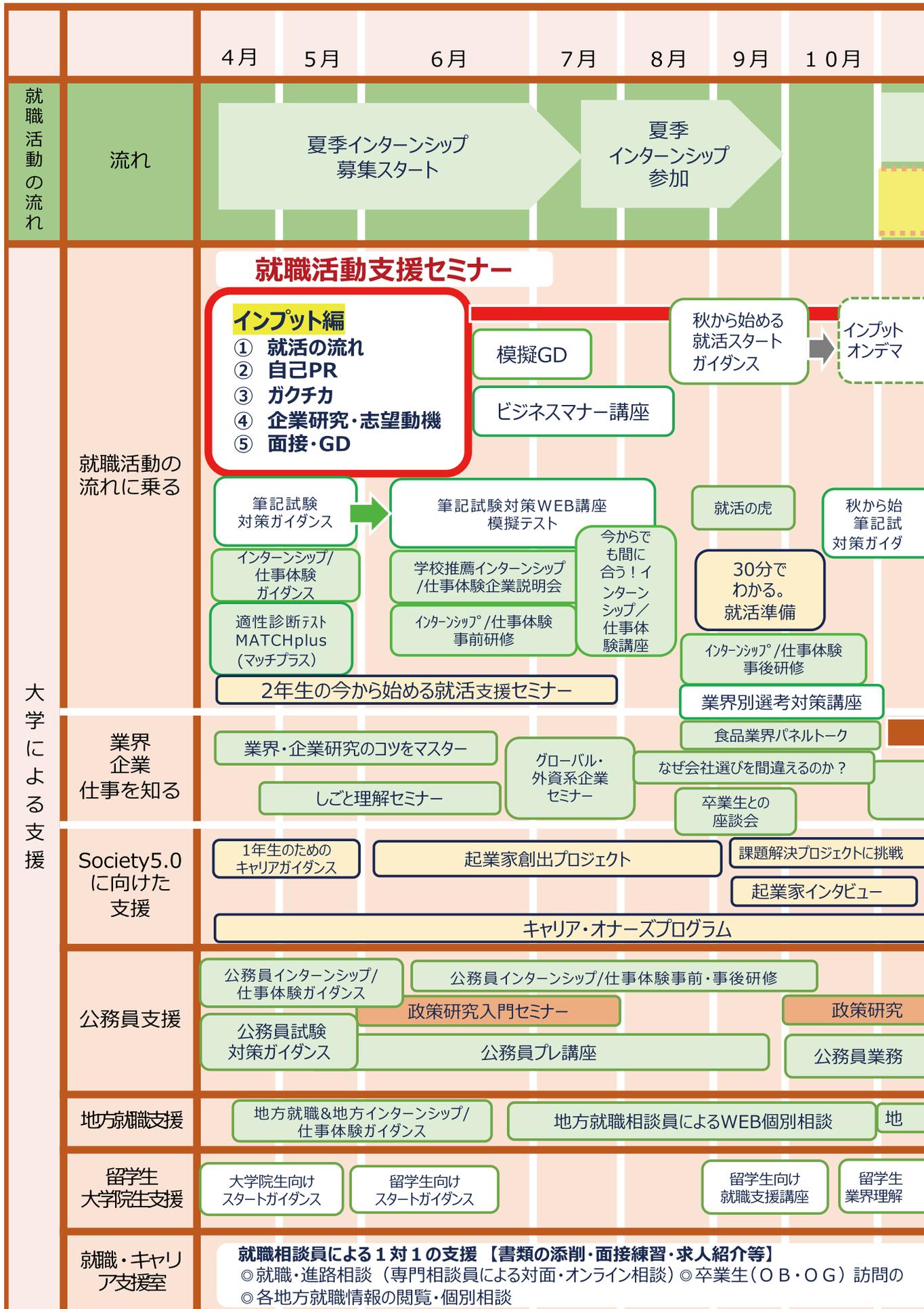
山本 最後に、これだけは伝えておきたいあるいは今日の感想などございましたら、一言ずつどうぞ。

寺田 やはり今、世の中は非常に混沌とした時代に入ろうとしていますので、その環境の変化にうまく対応できるように大学生活を送り、就職活動に進んでほしい。そのためにも、困ったら、いつでも**身近にいる大人、保護者や教職員に相談してもらおうということが大事だと思います。**それは結果的には**全てがコミュニケーション力につながると**思います。**こうした非常に不安定な時代だからこそ、しっかりと地に足をつけて頑張りたい**と思います。そして、保護者の皆さんはそれを支えていただきたいと思っています。

前田 私たちは学生のために何ができるのかということを中心に考えて支援したいと考えています。今、学生はいろんなチャンネルで情報を集めて行動できる状況ですが、**一番安心できる情報源というのは大学だと信頼して活用していただきたい**と思っています。本日はありがとうございました。

山本 ありがとうございました。

東洋大学就職・キャリア支援体系(2023年度) 3/2時点



1・2・3年生対象

1・2年生対象

2・3年生対象

3年生対象

4年生対象

11月

12月

1月

2月

3月

春学期

夏季
休暇

秋学期

秋季・冬季インターンシップ
募集スタート

秋季・冬季
インターンシップ
参加

採用広報
活動開始

内々定

※早期に選考・内定を出す企業あり

エントリー開始
(会社説明会、ES提出、筆記・適性試験、
面接、GD)

アウトプット編

動画選考対策セミナー／
作成した動画の添削

模擬面接・OBOG模擬面接

模擬GD

筆記試験対策WEB講座
模擬テスト

就活
メイク
講座

今から始める
就活支援
セミナー

ES集中
対策講座

フォロー編

課題解決型

- ①面接対策講座
- ②志望動機突破講座
- ③自己PR対策講座
- ④就活リスタート講座

模擬面接

マッチング
会社説明会

企業説明会

個別相談&
求人紹介会

オンライン合同企業セミナー

学内企業
説明会

四季報を使った
企業・業界
の探し方

内定者
報告会

就活前に絶対知っておきたいこと

社会人インタビュー

海外・国内企業の
ミッションにチャレンジ

起業の
たまご

未来を考える時間
～じぶん和社会の
新しいつながり方～

Paizaラーニング

公務員内定者
報告会

面接カード添削会

論文対策講座
(教養記述)

公務員面接対策講座

入門セミナー

公務員試験対策
併願大作戦

公務員プレ講座

面接カード添削会

集団
討論

理解セミナー

面接カード作成基礎講座

面接指導会

方就職ガイダンス

地方で働くことを考えよう

鉄組企業フォーラム

向け
講座

大学院生向け
就職支援講座

留学生積極採
用企業説明会

申請 ◎求人票／就職活動体験レポートの閲覧 ◎就職関連冊子の閲覧(筆記試験・業界研究・公務員対策過去問等)

キャンパスガイド

白山キャンパス

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20



文・経済・経営・法・社会・
国際・国際観光・国際地域学部
イブニングコース(第2部)
大学院

敷地：3万6,412㎡
校舎：11万2,712㎡



詳細はこちら



お問い合わせ先 キャンパス代表 総務課 03-3945-7224

川越キャンパス

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100



理工学部・総合情報学部
大学院理工学研究科
大学院総合情報学研究科
大学院学際・融合科学研究科

敷地：28万6,981㎡
校舎：7万9,007㎡



詳細はこちら



お問い合わせ先 キャンパス代表 総務課 049-239-1300

板倉キャンパス

〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1



生命科学部・食環境科学部
大学院(生命科学研究科・
食環境科学研究科)

敷地：33万1,963㎡
校舎：3万4,279㎡



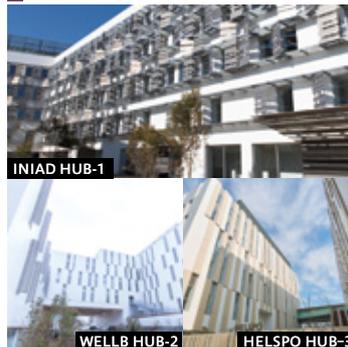
詳細はこちら



お問い合わせ先 キャンパス代表 板倉事務課
東洋大学ホームページ「お問い合わせ窓口」から
<https://forms.gle/X6krNqZkCpb5zitB7>

赤羽台キャンパス

〒115-8650 東京都北区赤羽台1-7-11



情報連携学部
社会学部社会福祉学科
ライフデザイン学部
福祉社会デザイン学部
健康スポーツ科学部
大学院(情報連携学研究科・
社会福祉学研究科・
ライフデザイン学研究科・
健康スポーツ科学研究科)



詳細はこちら



お問い合わせ先 お問い合わせはEメールでお願いいたします
情報連携学部 ml-iniad-fs@toyo.jp
ライフデザイン学部/福祉社会デザイン学部/健康スポーツ科学部 mlakyo@toyo.jp

2023年度 学年暦カレンダー

■ 春学期 (4月10日授業開始)

	日	月	火	水	木	金	土	
4月	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	
	休暇						就学手続	
	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6 入学式	4/7	4/8	
	オリエンテーション							
	4/9	4/10 月①	4/11 火①	4/12 水①	4/13 木①	4/14 金①	4/15 土①	
	春学期 授業開始							
	4/16	4/17 月②	4/18 火②	4/19 水②	4/20 木②	4/21 金②	4/22 土②	
5月	4/23	4/24 月③	4/25 火③	4/26 水③	4/27 木③	4/28 金③	4/29 土③	
	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6 土④	
	休							
	5/7	5/8 月④	5/9 火④	5/10 水④	5/11 木④	5/12 金④	5/13 土④	
	5/14	5/15 月⑤	5/16 火⑤	5/17 水⑤	5/18 木⑤	5/19 金⑤	5/20 土⑤	
	5/21	5/22 月⑥	5/23 火⑥	5/24 水⑥	5/25 木⑥	5/26 金⑥	5/27 土⑥	
	5/28	5/29 月⑦	5/30 火⑦	5/31 水⑦	6/1 木⑦	6/2 金⑦	6/3 土⑦	
	6/4	6/5 月⑧	6/6 火⑧	6/7 水⑧	6/8 木⑧	6/9 金⑧	6/10 土⑧	
	学祖祭 (授業実施)							第1クォーター 授業終了
	6/11	6/12 月⑨	6/13 火⑨	6/14 水⑨	6/15 木⑨	6/16 金⑨	6/17 土⑨	
6月	第2クォーター 授業開始							
	6/18	6/19 月⑩	6/20 火⑩	6/21 水⑩	6/22 木⑩	6/23 金⑩	6/24 土⑩	
	学びLIVE							
	6/25	6/26 月⑪	6/27 火⑪	6/28 水⑪	6/29 木⑪	6/30 金⑪	7/1 土⑪	
	7/2	7/3 月⑫	7/4 火⑫	7/5 水⑫	7/6 木⑫	7/7 金⑫	7/8 土⑫	
7月	7/9	7/10 月⑬	7/11 火⑬	7/12 水⑬	7/13 木⑬	7/14 金⑬	7/15 土⑬	
	7/16	7/17 月⑭	7/18 火⑭	7/19 水⑭	7/20 木⑭	7/21 金⑭	7/22 土⑭	
	(授業実施)							
	7/23	7/24 月⑮	7/25 火⑮	7/26 水⑮	7/27 木⑮	7/28 金⑮	7/29 土⑮	
	7/30	7/31 月⑯	8/1 火⑯	8/2 水⑯	8/3 木⑯	8/4 金⑯	8/5 土⑯	
8月	7/31~8/5 試験・補講を含む期間						第2クォーター 授業終了	
	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	
	夏季休暇 / 夏セッション							
	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19 オープンキャンパス	
	夏季休暇 / 夏セッション							
	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26	
	夏季休暇 / 夏セッション							
	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	9/1	9/2	
	夏季休暇 / 夏セッション							
	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	
9月	夏季休暇 / 夏セッション							
	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16 創立記念日	
	夏季休暇 / 夏セッション						学位記授与式・卒業式	
	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22 金①	9/23 土①	
	夏季休暇 / 夏セッション					秋学期 授業開始	(授業実施)	
9/24	9/25 月①	9/26 火①	9/27 水①	9/28 木①	9/29 金②	9/30 土②		

■ 秋学期 (9月22日授業開始)

	日	月	火	水	木	金	土
10月	10/1	10/2 月②	10/3 火②	10/4 水②	10/5 木②	10/6 金③	10/7 土③
	10/8	10/9 月③	10/10 火③	10/11 水③	10/12 木③	10/13 金④	10/14 土④
	(授業実施)						
	10/15	10/16 月④	10/17 火④	10/18 水④	10/19 木④	10/20 金⑤	10/21 土⑤
	10/22	10/23 月⑤	10/24 火⑤	10/25 水⑤	10/26 木⑤	10/27 金⑥	10/28 土⑥
	10/29	10/30 月⑥	10/31 火⑥	11/1 水⑥	11/2 木⑥	11/3 金⑦	11/4 土⑦
	大学祭準備日						
	11/5	11/6 大学祭 大学祭整理日	11/7 火⑦	11/8 水⑦	11/9 木⑦	11/10 金⑧	11/11 土⑧
	休						
	11/12	11/13 月⑦	11/14 火⑧	11/15 水⑧	11/16 木⑧	11/17 金⑨	11/18 土⑨
11月	11/19	11/20 月⑨	11/21 火⑨	11/22 水⑨	11/23 木⑨	11/24 金⑩	11/25 土⑩
	第3クォーター 授業終了			第4クォーター 授業開始		(授業実施)	
	11/26	11/27 月⑩	11/28 火⑩	11/29 水⑩	11/30 木⑩	12/1 金⑪	12/2 土⑪
	12/3	12/4 月⑩	12/5 火⑪	12/6 水⑪	12/7 木⑪	12/8 金⑫	12/9 土⑫
	12/10	12/11 月⑪	12/12 火⑫	12/13 水⑫	12/14 木⑫	12/15 金⑬	12/16 土⑬
	12/17	12/18 月⑫	12/19 火⑬	12/20 水⑬	12/21 木⑬	12/22 金⑭	12/23 土⑭
	12/24	12/25 月⑬	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30
	12月授業終了						
	冬季休暇						
	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5 金⑭	1/6 土⑭
2024 1月	冬季休暇						
	1/7	1/8	1/9 火⑭	1/10 水⑭	1/11 木⑭	1/12 金⑮	1/13 土⑮
	1月授業開始						
	1/14	1/15 月⑭	1/16 火⑮	1/17 水⑮	1/18 木⑮	1/19 金⑯	1/20 土⑯
	大学入学共通テスト						
	1/21	1/22 月⑮	1/23 火⑯	1/24 水⑯	1/25 木⑯	1/26 金⑰	1/27 土⑰
	1/23~1/29 試験・補講を含む期間						
	1/28	1/29 月⑯	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3
	第4クォーター 授業終了						
	春季休暇 / 春セッション						
2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	
2月	春季休暇 / 春セッション						
	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17
	春季休暇 / 春セッション						
	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24
	春季休暇 / 春セッション						
	2/25	2/26	2/27	2/28	2/29	3/1	3/2
	春季休暇 / 春セッション						
	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9
	春季休暇 / 春セッション						
	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16
3月	春季休暇 / 春セッション						
	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23
	春季休暇 / 春セッション						学位記授与式・卒業式
	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28 学びLIVE	3/29	3/30
	春季休暇 / 春セッション						
3/31							

第1クォーター

第2クォーター

第3クォーター

第4クォーター



国際部の 窓口から

渡航を伴う国際交流プログラムの再開と ウクライナからの留学生受け入れ

国際部長 根岸 哲也

新型コロナウイルス感染症の地球規模での拡大のため、2020年度以降は、実際の渡航を伴う国際交流のプログラムを中止せざるを得ませんでした。

しかし、2021年度から徐々にプログラムが再開され、2022年度以降には、希望するほとんどの学生の海外への派遣と受け入れが実施できています。

昨年3月に赤羽台キャンパスに完成した、日本人学生と外国人留学生が共同生活を行う国際交流宿舎AI-HOUSE HUB-4には、多くの交換留学生が入居しています。

2022年度の入居学生たちの中に、ウクライナから本学へ留学した12名の学生の姿がありました。2022年2月に始まったロシアの侵攻により、ウクライナの多くの学生の学びの継続が困難になりました。本学はコロナ禍において、「学生の学びを止めない」取り組みを進めてきました。この状況において、矢口学長のリーダーシップと、安齋理事長の支持により、ウクライナの「学生の学びを止めない」ための留学を検討するオンライン会議が、ウクライナの3大学との間でスピード感をもって行われました。

在日ウクライナ大使館の協力もあり、4月には、タラス・シェフチェンコ・キーウ国立大学、ボリス・グリンチェンコ記念キーウ市立大学、国立航空大学と学生交換協定を締結しました。この協定に基づき、5月初旬から中旬にかけて、各大学から4名ずつの学生が来日し、本学での学びをスタートさせたのです。

また、7月には、ウクライナの学生を含む、日本で学んでいる学生たちへメッセージを送りたいというゼレンスキー大統領の意向を受け、本学にてオンラインによる大統領の講演会が実施されました。

ウクライナの学生たちは、日本語や日本文化に関心を持ち、多くの授業に参加し、日本人学生や多様な国からの留学生と交流しました。2023年度も、交換協定に基づき、学生の入れ替わりはありますが、ウクライナの大学からの学生受け入れは継続しています。

ウクライナの学生の本学での「学び」においては、日本人学生がサポートすることによる「学び合い」が相互の文化の理解を深めることに大きな役割を果たしたように思います。

2022年度に、本学のプログラムが、文部科学省の「大学の世界展開力事業」に採択されました。これは、英国、オーストラリア、米国、韓国、タイ、インドネシアの11の協定校と学生交換を行うものです。双方の大学における、学生たちの日本語や日本文化の「学び合い」により、将来の日本と関係各国の懸け橋となる人材を育成します。

このような実際に渡航して学ぶ長期・短期のプログラムや、渡航を伴わない海外大学との相互履修制度「Online Exchange Program “OEP”」・模擬国連・国際学生ミーティング等のオンラインによるプログラムといった、多彩な国際交流の機会を本学では学生に提供しています。

更に、国内外で活躍できるグローバルな人材となることを後押しし、学生の「異文化環境における英語運用表現能力」、「多文化共生社会における価値創造能力」、「異文化環境における課題解決能力」の強化を目的とする、Toyo Global Leader (TGL) Programを制度化しており、要件を満たした学生をToyo Global Leader (TGL)として表彰しています。

これらの国際交流プログラムについては、本学ウェブサイトや公式アプリ等を通じて、学生の皆さんへ周知しています。

ウクライナの大学と締結した協定は、双方の学生の交換を行うものです。平和を取り戻した彼の地で、本学学生がウクライナの学生と共に学ぶ日が一刻も早く訪れることを願っています。



交換留学生修了式のウクライナの学生たち
(2022年1月23日)



「修学支援新制度と本学における奨学金支援のトピック」

現在、学部生向けの奨学金支援は、国による高等教育の修学支援新制度（給付奨学金・授業料等減免）と日本学生支援機構貸与奨学金が中心となっています。修学支援新制度については、政府の骨太方針2022等を受けて、文部科学省から改正の方向性が示されています。2024年度からは、扶養する子供が3人以上の世帯の学生や理工農系の学部にも所属する学生を支援対象とする中間層への支援拡大が予定されています。新たに支援対象に該当する世帯にとっては、嬉しい話ですが、制度の複雑化が進むことについては、大学関係者が頭を悩ませています。制度の趣旨には賛成するところですが、学生やご家族が理解しにくい難解な仕組みや、対応する大学への過大な負荷など、教育現場の実態を理解しないまま政策実現だけが優先されている印象を受けます。制度があるにもかかわらず、支援を受ける学生が理解しにくく、大学が積極的に案内できない場合は問題となります。今後、詳細情報が発表されることに注目しています。

修学支援新制度と日本学生支援機構貸与奨学金による公的な中長期の経済支援に加え、本学は独自に短期的な経済支援を行うことを目指し、この数年、制度整備を図ってきました。

新型コロナウイルス感染症対策として、2020年度より寄付を原資とする特別奨学金「RIBBON」で、生計維持者（父母）の失職に対する緊急支援を実施してきました。しかし、コロナの影響に関係なく、失職に対する支援が必要であるとの判断から、2023年4月より恒常的な制度として「生計維持者の失職に伴う奨学金」の運用を開始しました。

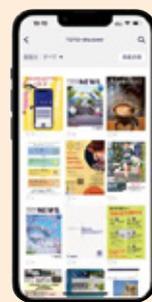
「生計維持者の逝去に伴う奨学金」については、2021年度に支援範囲を拡大しました。主たる家計支持者の死亡（父母のうち収入の多い者）という条件を、共働き世帯が一般的なライフスタイルの一つとなっている現状に即し、収入のある父母のどちらかが亡くなった場合でも支援が行えるようにしました。このため、大学届出の保証人に限定するものではありません。万が一の場合に備えて、この点をご承知おきください。

経済的修学困難者奨学金「エール」については、ここ数年、出願者が減っている状況です。実際には、出願すれば受給できる所得層の世帯の学生がもっといるものと推定されますが、学生自身が親の学費工面の苦勞に気づかず、奨学金の募集情報に無関心であることも一因と考えられます。

だいぶ昔の話になりますが、父母懇談会でお会いした学生のお父様から、学費は一度学生の口座に振り込み、学生自身で大学へ振り込ませる、というお話を伺いました。お父様自身が振り込んだほうが、手数料も手間もかからないけれども、金額を認識させ、自ら振り込みをさせることで、その後の大学生活への意欲や義務に働く効果は大きく、有意義であるというお考えでした。大変感銘を受けたのを覚えています。親御さんあての納付金振込用紙送付を原則としている大学の姿勢にも課題があるのではないかと考えさせられました。教育を受ける学生自身が、学費の重みを感じることで、学びを得る権利と学びを果たす義務に気づき、主体的に取り組む姿勢ができるのかもしれませんが。

一方で、大学としては一層わかりやすい情報提供が必要であることを肝に銘じ、丁寧な広報を心がけるとともに、新たなツールも用いて、学生とご家族に奨学金情報を提供していきたいと考えています。

キャンパスライフをサポートするツールとして、スマートフォンで利用できる「東洋大学公式アプリ」を学生に提供していますが、2023年3月に在学生のご家族も利用できる機能を新たにリリースしました。今後、奨学金の募集情報についても、この機能を活用してお知らせしていきたいと考えています。ぜひアプリをインストールの上、プッシュ通知をONにして、大学からの情報をお子様との会話のきっかけにさせていただけたらと思います。奨学金情報のほかにも、大学スポーツを始めとするイベント情報や大学報の発行情報などもお届けする予定です。



東洋大学ホームページ



学部生対象の奨学金

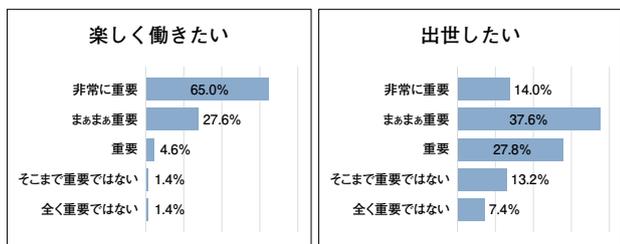


東洋大学公式アプリ

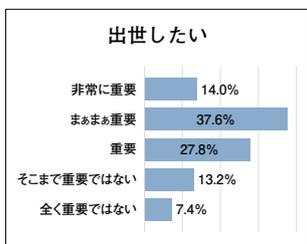
学生アンケートから見る本学学生の志向

2022年度4月就職活動スタートガイダンス
3年生・院1年生アンケート結果より

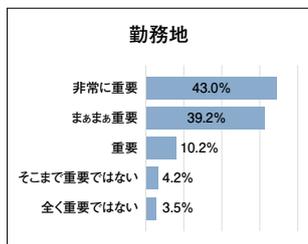
■ 職業観【楽しく働きたい】



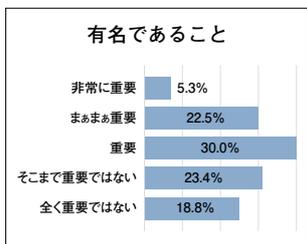
■ 職業観【出世したい】



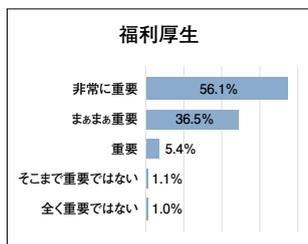
■ 仕事選び【勤務地】



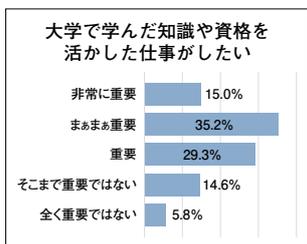
■ 仕事選び【有名であること】



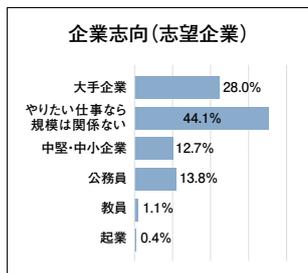
■ 仕事選び【福利厚生】



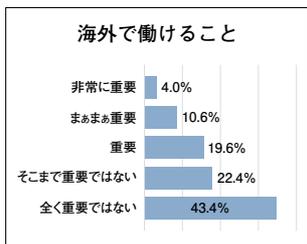
■ 仕事選び【大学の知識】



■ 企業志向 (志望企業)



■ 海外志向



「楽しく」「勤務地」「福利厚生」を重視する傾向！ やりたい仕事であれば規模にはこだわらない！

就職活動のサポートについては、見守る保護者とお子さんとのコミュニケーションから、価値観・方向性を共有することが大切だと思います。掲載データが参考になれば幸いです。

就職支援室の活用方法

■ 個別相談

就職活動に関する漠然とした悩みから履歴書添削、面接対策まで幅広い相談を受け付けております（事前予約制）。

■ 資料閲覧

業界地図や先輩の活動記、筆記試験対策本や新聞等を設置しており、開室時間内は自由に閲覧できます。



全キャンパスに専門の相談員を配置しております。

■ 就職・キャリアHPをリニューアルしました！

TO YOU



あなたの主活力をサポートする就職情報ナビサイト

学生一人ひとりの状況や要望に寄り添ったサポート情報を発信して参ります。HPでは就職イベント情報や学生が視聴可能なコンテンツの配信、就職相談カウンセリング情報などに加え、鉄紺企業情報・地方企業情報、学生生活に関するページもリンクさせております。

■ 企業とのコミュニケーション環境を提供します。

約9割の企業が、オンラインを活用したインターンシップや採用選考を実施しています。キャンパス内でも周囲の音や他の学生を気にせず、集中して就職活動に臨める環境が欲しいとの学生ニーズに対応するため、2023年度より全キャンパスにコミュニケーション環境を整備します。

(個室防音ブース)



白山
川越
板倉
WELLB

(個室予約システム)



INIAD

毎年、納付金の納入にご協力いただきましてありがとうございます。
納付金について、毎年多くお問い合わせいただく内容を中心に説明します。

I 納付金の納入方法と時期

①振込用紙の送付先

第1部 ……保証人住所

第2部 ……入学時に選択した本人または保証人住所

転居等により送付先の変更を希望される方は、発送予定日の1ヶ月前までに、学生本人を通して届け出てください。
発送予定日は事前にHP等でお知らせしますのでご確認ください。

②納付金の納入方法

納付金は全額納入(全納)と授業料・一般施設設備資金・実験実習料・教育充実料を年2回に分割する分割納入(分納)を選択できます。

雨水会費(第1部の学生のみ)・学生課外活動育成会費は原則として春学期に徴収します。

分割納入(分納)を選択された方の秋学期用の振込用紙は9月末頃に大学より郵送します。

本学では納入方法として、銀行振込とペイジーでの納入を推奨しています。

金融機関ATMやインターネットバンキングからのお振込も可能ですが、振込用紙および同封の案内文に記載の注意事項をよくご確認の上でご利用ください。

なお、大学窓口での現金による受付は行っておりません。

③納入期限

春学期 ……5月31日

秋学期 ……11月10日

納入締切日が土日祝日等で銀行営業日でない場合、変更となる場合があります。振込用紙に記載の納入期間を必ずご確認ください。納入期間および振込用紙の発送時期が変更となる場合があります。事前にHP等でお知らせしますのでご確認ください。

※修学支援新制度の利用者(申請中も含む)やその他の奨学金の対象者は、納入期間を変更することがあります。事前にHP等でお知らせしますのでご確認ください。

II 学籍異動に係る納付金について

休学・原級(留年)・退学等、学籍異動時には必要な納付金が変わります。

なお、休学・退学により徴収対象外となる学費がある場合は、返金いたします。

休学……各学期期首付での休学が認められた場合、一般施設設備資金の半額と、その他の費用を納めていただきます。

原級(留年)……原級された後は、納付金の納入は学期ごとになります。

退学……各学期の納入期間内に退学の手続きが完了した場合、前学期末付での退学となり、納付金を納入する必要はありません。

なお、学籍異動の「許可願」が受理された日により学籍異動の効力が発生する日付が異なります。

学籍異動の申請手続きについて、ご不明な点は、各学部教務担当課にお問い合わせください。

III よくあるご質問

よくあるご質問を納付金に関するHPにまとめてご紹介しております。

納付金に関するQ&A：<https://www.toyo.ac.jp/academics/student-support/jyugyou/campuslife/faq/>

※ページ右下のQRコードからもアクセスいただけます。

IV 納付金についてのお問い合わせ先

振込用紙の未着や紛失、支払額の詳細など納付金に関するお問い合わせ先は東洋大学HPでご確認ください。

納付金(学費等)：<https://www.toyo.ac.jp/academics/student-support/jyugyou/campuslife/>

※ページ右下のQRコードからもアクセスいただけます。



2022年度事業報告

※2023年5月27日 評議員会開催予定
変更があった場合、浦水会ホームページにて修正版を掲載します。

東洋大学は教育・研究の質を向上させ、新たな時代を担う人材を育成するために学部・学科の再編やキャンパス間の移転を進めています。昨年度は朝霞キャンパスにあるライフデザイン学部を赤羽台キャンパスに移転させ、2023年度は赤羽台キャンパスに新たに福祉社会デザイン学部社会福祉学科、こども支援学科、人間環境デザイン学科、健康スポーツ科学部は健康スポーツ科学科、栄養科学科の2学部5学科を開設します。

ソフト、ハードの両面から「福祉」「スポーツ科学」と向き合う一大拠点として、少子高齢化や健康問題といった社会課題の解決に努めています。2024年度は朝霞キャンパスに生命科学部生命科学科、食環境科学部食環境科学科、健康栄養学科を板倉キャンパスから、生体医工学科を川越キャンパスから移転させ、新たに生物資源学科、フードデータサイエンス学科を開設し2学部6学科体制となります。各キャンパスに共通するテーマを持った学部を配置し、連携・協働を図ることで、「SDGs(持続可能な開発目標)」達成に寄与する地球規模での課題解決に向けた教育研究活動を推進し、地球社会の未来に貢献する人材を育成していきます。

また、コロナ禍において、オンライン活用による教育効果も向上しており、今後は科目の特性に合わせてオンライン活用と対面教育の最適化を図り、学生により豊かな学びを提供し、地球社会の明るい未来づくりに貢献する人材を育ててまいります。

東洋大学浦水会は、1959年1月父兄会として設立されてから今日に至るまで、「東洋大学学生の父母又は学生の保護者相互間の連絡を密にし、大学の興隆発展に協力するとともに、大学と協力して学生の心身の健全な発達を図ること」を目的としており、2022年度で創設63年目を迎えました。

浦水会として大学の掲げる目標及び事業を支援するとともに、会員とご子息ご息女各位にとって、実り多きものとなるように、2022年度も引き続き、大学との「協働」「連携」の基本方針のさらなる充実を目指して、浦水会の事業を展開してまいりました。

2022年度は、新型コロナウイルスの収束が先行き不透明な状況にはありましたが、対面式で実施してきた行事を、コロナの状況を注視しながら実施することができました。

以下、2022年5月の評議員会で承認された事業計画に基づき、大学との協働及び連携の下で執行した事業実施概要を報告いたします。

I. 本部事業関係

1. 本部で実施する「諸会議及び行事」

(1)評議員会	構成員 常任理事9名、全国56支部長56名、支部選出の評議員10名 会則第21条に基づき、2022年5月28日に次のとおり開催した。 ①評議員定数75名中、60名出席 ②議長・副議長、議事録署名人2名を選出 ③議案として、2021年度事業報告および2022年度事業計画等について審議した。
(2)理事会	常任理事と地区長理事で構成され、会則第8条に基づき、2021年度第2回理事会を2022年4月9日に開催、2022年度第1回理事会を2022年11月12日に開催した。
(3)常任理事会	会則第9条に基づき、月1回の定例会議を開催し、業務を執行した。 ①2021年度 第9回 常任理事会 2022年 4月 9日 ⑥2022年度 第4回 常任理事会 2022年11月12日 ②2021年度 第10回 常任理事会 2022年 5月14日 ⑦2022年度 第5回 常任理事会 2022年12月 3日 ③2022年度 第1回 常任理事会 2022年 6月11日 ⑧2022年度 第6回 常任理事会 2023年 1月 7日 ④2022年度 第2回 常任理事会 2022年 9月 3日 ⑨2022年度 第7回 常任理事会 2023年 2月 4日 ⑤2022年度 第3回 常任理事会 2022年10月 1日 ⑩2022年度 第8回 常任理事会 2023年 3月11日
(4)常任理事会内委員会	必要に応じて委員会を開催し、業務を執行した。
(5)役員選考委員会	会則第6条に基づき、全国56支部より選出し、次期役員候補者を選考するため、2023年1月21日に開催した。
(6)地区別支部長会議	会則第39条に基づき、地区長主催で全国10地区において本部・支部活動の円滑な連携と地区の活性化を目的とし、2023年2月に開催した。
(7)全国56支部長研修会	本部主催のもと、次のとおり開催した。 日時等 2022年9月10日 出席者 全国56支部長(含代理) 内容 「浦水会諸規程集」及び「支部関係業務処理に関する取扱い」の説明、参加者によるグループワークの実施等
(8)東洋大学懇談会での協働	大学主催による東洋大学懇談会(2022年度より父母懇談会から名称を変更)の実施に際して、浦水会本部及び各支部が実施運営に協働(協力支援)することを本部事業として位置づける。 東洋大学懇談会の実施については、関東地区の各支部(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県)の会員に対しては、学生が在籍する各キャンパス(白山、川越、板倉、赤羽台)で学部別懇談会として大学教職員による履修成績、学生生活及び就職の支援体制についてWEBを利用して説明する他、個別面談を6月に実施し、関東地区以外の各支部の会員については、全国17会場にて地区別懇談会として大学と就職状況の説明及び大学からの講師による講演会を7月～8月に実施した。
(9)会員の集い・就職フォーラム	会員相互の親睦を深め、学生の就職状況と就職活動に対する理解を深めることを目的とし、2022年11月13日に開催した。
(10)地区別支部長懇談会	2022年度は対面式の支部総会を実施したため、本計画は中止となった。

2. 学生支援諸制度

(1)奨学生制度	①「奨学生規程」に基づき、会員が不測の事故等で家計が急変し、修学が困難となった学生に対し、常任理事会において選考した。2022年度第5回常任理事会(2022年12月3日開催) 一般奨学生1名採用 ②経済支援奨学金 学生部より申請のあった対象学生春学期60名、秋学期135名へ支給した。 春学期 @30,000×6ヶ月(10,800,000円) 秋学期 @30,000×5ヶ月(20,250,000円)
(2)学生の課外活動促進	①学生の課外活動に係る支援及び表彰 学生部と連携し、学生団体のみならず、個人の活動についても対象とし、顕著な活動が認められ、大学から特段の要請があった学生について援助・表彰をした。 ②文化系サークル活動促進援助 本学の運動部以外の多様な文化系サークル活動に関して、全国で行われる大会や発表会への参加等、地方における課外活動の促進を図る援助を一部行うことができた。 ③正課外教育活動参加促進援助 大学が指定するイベントに参加する学生に対して支援を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント開催が行われず、実施に至らなかった。 ④学生団体による応援・広報活動の支援 応援や広報活動等を行っている学生団体に対し、交通費や運搬費を一部支援することができた。
(3)国際化の支援	大学の国際化の支援の一環として、外国人留学生と日本人学生のコミュニケーションとグループワーク等に関するイベントへの支援、大学の交流イベントを協賛、補助する形で外国人留学生が興味を持っている日本の衣食住、文化芸術に関わる講演会などを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが実施されなかった。
(4)就職活動支援	①予算規模を考慮して、経済的困窮学生を対象を限定し、ビジネススーツを含む就活グッズの購入補助を行った。支援対象学生の選考が難しいことを踏まえて、奨学金受給者のうち大学から推薦される3年生(会員のみの)を対象とした。(3,980,000円) ②就活グッズの作成配布 就職活動を行う学生全体に対して、大学独自の履歴書を配布した。
(5)学生の食育支援	大学からの申請に基づき、全学生に対して100円朝食を提供予定であったが、コロナ禍の影響により、春学期は実施に至らなかった。同様に、朝食支援として4・7月に豆乳、グラノーラなどの軽食の提供を予定したが、中止となった。
(6)東洋大学社会貢献センター学内講座浦水会援助制度	2016年度より開設した東洋大学社会貢献センター学内講座の実施に伴い、申請に基づき広く褒賞金を支給する。春学期・秋学期に申請のあった資格合格者へ支給した。
(7)弔慰金制度	「弔慰金規程」に基づき、不測の事故等で会員又は会員の子女が死亡した時、その遺族に対して弔慰金3万円を支給する。春学期は申請者4名・秋学期は申請者13名に支給した。

3. 雨水会費の徴収・支部運営費の交付

(1)雨水会費の徴収	雨水会費は、1部学生については、大学に代理徴収を依頼し、入学時及び毎年授業料払込時に5,000円を徴収し、2部学生については、任意加入のため個別の徴収を行っている。
(2)支部運営	①在学生が確定する6月時点の支部会員数25,676名分に対して1人当たり1,000円を乗じ、さらに会員が1,000名未満の支部については100,000円を加算し、本部から運営費として総額30,376,000円を交付した。 さらに、会員数200名未満の支部については、支部からの申請に基づき増額50,000円の援助を行った。 ②支部運営費については、主に講演会、校舎見学等の支部開催事業(支部行事)に対して充当される。 支部会員全体を対象とした支部主催行事で、就職説明会、文化・体育活動の応援会、演奏会、父母・保護者間の連携を密にするための研修会、交流会等を開催する場合、支部からの申請に基づき、行事毎に10万円の範囲内で年度2回を上限に援助をした。 ただし、申請支部の繰越金等を考慮し、常任理事会で援助金額について審議する。

4. 就職関係

就職関連講演会等の実施	本部または各支部で実施する就職関係講演会等の行事については、東洋大学懇談会(2022年度より父母懇談会から名称変更)の内容を踏まえた上で、実施時期、講演者、講演内容を検討した。 行事内容の策定及び講演者の選定については、雨水会員のニーズを考慮するとともに、実施に際しては、雨水会事務局を通じて大学における就職関連担当事務局(就職・キャリア支援部等)の意見及び推薦を踏まえることとする。
-------------	---

5. 大学事業(行事)に対する支援協働

会則に規定する「目的及び事業」を達成するために、大学事業には積極的に援助・協働することを基本とした。

(1)東洋大学懇談会および雨水会支部総会同日開催に伴う経費	大学主催による東洋大学懇談会(2022年度より父母懇談会から名称変更)の実施に際し、雨水会本部と各支部が実施・運営に関して、今年度も引き続き大学との協働(連携・支援・協力)体制で計画し、全国17会場で開催し、実施経費のうち会場費等を雨水会本部予算より支出した。
(2)父母専用相談窓口について	2015年度から開設された、父母専用相談窓口(父母ホットライン)の運営を大学と協働して推進した。
(3)「井上円了が志したものは」に対する援助	井上円了記念学術センター内の実行委員会の実施企画の運営費の一部を援助した。(1,459,000円)
(4)卒業記念品	卒業記念品購入代金として大学、校友会と協賛し、分担金を支出した。記念品目については、関係部署と事前に協議をした。(1,800,000円)
(5)全学的な行事に対する援助	既存の4キャンパスにおける大学祭(白山祭(白山)、こもれび祭(川越)、雷祭(板倉)、WELLB-FES(赤羽台))に援助金を支給した。(2,200,000円)
(6)留学生団体等に対する援助	大学の国際化が進み、大学の活性化にも繋がる留学生連合会等の団体の活動に対し、広く援助金を支給する予定であったが、コロナ禍で中止となった。
(7)学部行事等(ゼミナール単位での取組み含む)に対する援助	①学生を対象とした学部行事・コンクール等において、優秀者に「雨水会会長賞」を授与し、ゼミナール単位における社会貢献活動、卒業生実務担当者と在校生の連携協力に対し援助金を支給した。 ②新型コロナウイルスに感染した一人暮らしの学生への食糧支援 一人暮らしで罹患した学生(含濃厚接触者)が自宅待機等不便を強いられるため、食糧支援が必要な場合、一刻も早く食糧を届けられるよう支援を行った。(1,395,000円) ③障がい学生支援ボランティア活動における功労者に対し、3年生17名へ表彰状を授与、4年生25名へ表彰状を授与し功労金を支給した。
(8)会長施策重点支援事業費	学生への支援事業として、会長が年度内に考案した事業について、常任理事会での承認を経て支出する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響のため実施にいたらなかった。
(9)箱根駅伝応援バスツアー(本部主催)	本部主催で計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う応援自粛要請により、バスツアーを中止した。

6. 大学及び校友会行事等に対する協力

大学及び校友会が年間行事として実施する行事等に、雨水会代表者を派遣した。

①2022年	6月6日	学祖祭
②2022年	11月5日	哲学堂祭
③2022年	12月10日	「井上円了が志したものは」表彰式

7. 広報活動

会員相互間の連絡を密にすることを目的として広報活動を実施した。

(1)雨水会本部発行者	①新入生対象の「会員のしおり」 — 年1回発行(2022年5月発行) ②全会員対象の「会報東洋」 — 年1回発行(2023年5月発行予定) ③本部役員及び支部長対象の「雨水会ジャーナル」 — 年2回発行(2022年4月発行・11月発行)
(2)雨水会ホームページの運営	本部独自のホームページを作成し、会員に即時に身近な情報を発信している。更新を随時行うために、業者に運営管理の委託をしている。
(3)本部及び支部活動促進のためのグッズ作成(当年度支部役員就任者への配布)	当年度就任の支部役員のモチベーションを高め、支部活動の活性化に寄与することを目的とした。大学の作成グッズを大学と協働で作成することで、作業効率の向上とコストダウンを図った。 配布に際しては、配布基準に基づき会員間の公平性を担保した。 また、支部役員就任者へ「スポーツ東洋」を年5回配付する予定であったが、コロナ禍により発行が不定期となっていたため、年1回(12月号・1月号)の配布となった。
(4)会員の満足度向上と帰属意識昂揚のための施策	①支部総会等、雨水会主催行事への会員の参加を促進するためのグッズを配布している。今回はハンドタオルを作成し、支部総会で配布した。 ②支部活動が著しく停滞している支部の会員に対して、グッズを配布するとともに支部活動への協力等依頼の文書を発送した。

8. 会員情報管理システム

雨水会本部では、大学の教務部門の情報を利用し、会費納入処理等を行っている。

2014年度以降、会員情報管理システムは、卒業生・雨水会連携推進課に対応を依頼しており、支部要請の宛名ラベルは本部で作成・提供できるようになっている。情報の使用・管理については、「個人情報保護法」に基づき適切に管理されるよう、引き続き支部への協力を依頼する。
また、大学と「個人データの提供に伴う個人情報の機密保持及び安全管理に関する契約書」を締結し、申請に基づき個人情報を厳密に取り扱っている。なお、雨水会ホームページを大学側ホームページにリンクし、データの更新を随時行い、情報化を促進した。

II. 支部事業関係

各支部が主催する行事等については、「支部主催行事等援助金」支給基準により、支援協力した。

(1)支部総会

大学主催の東洋大学懇談会(2022年度より父母懇談会から名称を変更)の開催に伴い、関東地区以外の支部については、原則として支部総会は、大学主催の東洋大学懇談会開催日と同日・同会場で開催した。

また、関東地区の支部については、支部総会は従来どおり別日程で独自開催した。

2022年度、支部総会の出席者には昼食代として1人上限2,000円(税込)を支援する予定だったが、コロナ禍のため実施に至らなかった。

また、懇親会実施に際し、本部からの支部役員獲得の支援として、支部からの申請により参加者一人当たり2,000円の援助を行った。7月第3週目以降に開催の支部総会からは、新型コロナウイルス感染予防のため、懇親会は中止とした。

地区別懇談会と同時開催できない支部もあり、支部会員の総会への出席を促すため、雨水会本部として協力をした。

(2)就職説明会・講演会等

月日	曜	支部	講演内容	開催場所
4月9日	土	神奈川	今どきの就活 親はどうする? 3大NG+親にしか出来ない事	TKP横浜
4月17日	日	東海3県	父母のための就活勉強会	安保ホール
5月22日	日	長野	長野県へのUターン就職について～長野で就活、しませんか?～	オンライン(ZOOM)
6月5日	日	長野	保護者のための特別講演(東洋大学 矢口悦子学長)	オンライン(ZOOM)
7月2日	土	城西	大学生の今後の人生とマネーについて	中野サンプラザ
7月2日	土	城北	成りたい自分になる方法 過去から自らのライフパターンを知ろう-	アットビジネスセンター池袋別館
7月2日	土	多摩	「東洋大学発展と今後の展望 -2023年箱根駅伝を含めて」	立川市女性総合センター
7月3日	日	埼玉県南	就活最前線の最新情報と内定獲得のキーポイント	ロイヤルパインズホテル浦和
7月9日	土	埼玉県中央	箱根駅伝のみどころ解説	川越プリンスホテル
7月9日	土	千葉県東	より良い「人と仕事の出会い」を作り出す	千葉市生涯学習センター
7月17日	日	栃木	ウイズ コロナ アフター コロナの就職活動	青年会館コンセール
7月17日	日	山梨	山梨の雇用情勢・就職支援について	アーバンヴィラ古木屋ホテル
7月17日	日	沖縄	食を取り巻く環境-日本と世界の食糧事情を考える-	ホテルサンパレス球陽館
8月27日	土	宮崎	東洋大学の発展と今後の展望-2023年箱根駅伝を含めて-	ニューウェルシティ宮崎
9月10日	土	群馬	企業が求める人材像/今どきの大学生の就職事情	ホテル1・2・3前橋マークユー
9月25日～10月2日	日～日	静岡	東洋大学雨水会静岡県支部就職活動父母説明会	WEB配信
10月22日	土	神奈川	就職講演会・ミニコンサート	ホテルプラム
12月11日	日	新潟	スマホケータイ安全教室・5Gって何?	新潟グランドホテル
12月18日	日	長野	第一部:長野県へのUターン就職について～長野で就活、しませんか?～ 第二部:人と会社に「いいね!」する～ふるさと信州学生Uターンプロジェクト～	オンライン(ZOOM)
2月18日	土	埼玉県南	親子で学ぶ!「おさえておきたい就活で内定獲得するための方法」	浦和コミュニティーセンター
3月4日	土	愛知	「人生100年時代の資産形成・生活設計」	名古屋金山ホテル
3月5日	日	富山	子どもの就活時に親はどのようにサポートすれば良いのか	富山県民会館
3月11日	土	沖縄	就職活動の学生に求めること	沖縄産業支援センター

(3)キャンパス見学会

月日	曜	支部	内容等	開催場所
7月10日	日	城東	ラグビー部への激励	川越キャンパス
11月26日	土	城西	野球部・陸上部への激励	川越キャンパス

(4)学生支援・研修会等

月日	曜	支部	内容等	開催場所
6月19日	日	徳島	新入生向け交流会	パークウェストン徳島
6月25日	土	秋田・山形	全国男鹿駅伝大会応援	男鹿総合運動公園
7月2日	土	埼玉東	落語会	越谷サンシティ
9月11日	日	城北	ラグビー応援	秩父宮ラグビー場
10月10日	月	広島	出雲全日本大学駅伝競走応援ツアー	出雲大社
10月15日	土	城北	増上寺参拝・「アナと雪の女王」観劇	東京都内
10月22日	土	埼玉東	バスツアー	神奈川県
10月30日	日	宮城	親睦会および会員同士の情報交換	エルパーク仙台
10月30日	日	中央	秋の目黒雅叙園「百段階段」見学会	ホテル雅叙園東京
10月30日	日	群馬	「雷祭」へ「射的店」出店	板倉キャンパス
11月5日	土	城西	哲学堂祭講演日帰り研修	哲学堂祭
11月5.6日	土・日	石川・福井	全国大学相撲選手権大会応援	両国国技館
11月6日	日	東海3県	第54回全日本大学駅伝応援	熱田神宮・伊勢神宮
11月6日	日	茨城	ラグビー部応援	龍ヶ崎フィールド
11月6日～27日	日～日	多摩	アイスホッケー部応援	東伏見
11月19日	土	埼玉中央	BBQ	オーパークおごせパークベキュー会場
11月26日	土	城西	川越バス研修会	川越周辺
11月27日	日	東京3支部	ラグビー応援	江戸川区陸上競技場
11月27日	日	岡山	研修旅行	尾道駅周辺
12月10日	土	城東	味噌づくり体験	江東区総合区民センター
12月21日	水	釧路	アイスホッケー応援	東伏見・新横浜
1月21日	土	東京3支部	東京吉原の文化歴史を学ぶ	ホテルみかさ
1月22日	日	多摩	新春大歌舞伎鑑賞	歌舞伎座
1月28日	土	宮崎	在学生を困んだ懇談会	ニューウェルシティ宮崎
2月18日	土	千葉東	バス研修旅行	千葉県内各地
2月18日	土	埼玉東	1.2年生会員の交流会	大宮周辺
2月19日	日	熊本	熊日30キロロードレース応援	熊本城
2月25日	土	千葉西	会員交流会	ザ クレストホテル柏
2月26日	日	城東	バスツアー	アクアワールド大洗
2月26日	日	城北・中央	バスツアー	筑波宇宙センター
2月26日	日	福岡	クロスカントリー応援	国営 海の中道海浜公園
3月11日	土	城西	国立新美術館鑑賞	国立新美術館
3月18日	土	多摩	そば打ち体験会	西鶴間 増田屋
3月19日	日	群馬	寄席	前橋商工会議所

雨水会収支関係

雨水会費5,000円

第1部	25,327名	126,635,000円
第2部	295名	1,475,000円
	25,622名	128,110,000円

2022年度会計報告

2022年度一般会計決算報告書 自2022年4月1日～至2023年3月31日

貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
(流動資産)	(66,948)	(流動負債)	(1,485)
現金	58	未払金	117
普通預金	64,143	前受金	210
郵便振替	2,747	預り金	1,158
(固定資産)	(4,000)	正味財産の部	
雨水会記念事業積立金	4,000	次年度繰越金	65,463
		特定資産次年度繰越金	4,000
合計	70,948	合計	70,948

一般会計収支計算書

自2022年4月1日～至2023年3月31日

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
雨水会費収入	128,110	事業費	123,714
雑収入	0	管理費	18,381
投資活動収入	-	投資活動支出	1,000
前年度繰越金	80,448	次年度繰越金	65,463
合計	208,558	合計	208,558

2023年度雨水会事業計画概要(2023年度評議員会資料抜粋)

2023年度事業計画

※2023年5月27日 評議員会開催予定
変更があった場合、雨水会ホームページにて修正版を掲載します。

東洋大学は、教育・研究の質を向上させ、新たな時代を担う人材を育成するために、学部・学科の再編やキャンパスの移転を進めています。2023年度は、ライフデザイン学部健康スポーツ学科、食環境科学部食環境科学科スポーツ・食品機能専攻を改組し、赤羽台キャンパスに「健康スポーツ科学部」を設置し、2024年度には、生命科学部、食環境科学部及び理工学部生体医工学科を朝霞キャンパスに移転します。

東洋大学雨水会は、1959年1月「子女の善意と知性の伸長、健康の保全等を通じ、大学に協力して学生生活の充実を図り、父母相互の親睦と連帯の責任感によって、子女の将来に希望と幸福をもたらすことを念願する」という趣旨をもって設立されました。雨水会は、東洋大学の掲げる目標及び事業を支援し、これまでと同様に大学との「協働」「連携」を図りながら、事業を展開してまいります。

2022年度は、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、感染予防に留意して対面によるイベントを再開してきました。2023年度についても、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、各種イベントの事業を計画します。

以下、2023年度雨水会事業計画の概要を説明いたします。

I. 本部事業関係

1. 本部で実施する「諸会議及び行事」

(1) 評議員会	常任理事及び全国各地の支部長と1,000名以上の会員を擁する支部選出の評議員とで構成され、会則第21条の重要項目に関して審議を行う最高議決機関であり、定例会として年1回5月に開催する。
(2) 理事会	常任理事と地区長理事で構成され、本会運営の基本業務について常任理事会の執行事項の確認・承認を行う機関であり、定例会として年2回10月及び翌年4月に開催する。
(3) 常任理事会	原則として、毎月1回開催する(7・8月を除く)。 本会運営の基本的業務について、評議員会・理事会等で決定した事業計画に基づき、円滑に執行する。
(4) 常任理事会内委員会	必要に応じて委員会を開催し、業務を執行する。
(5) 役員選考委員会	次期役員候補者を全国の各支部より推薦していただき、1月に役員候補者の選考を行う。
(6) 地区別支部長会議	全国10地区において地区長主催で、本部・支部活動の円滑な連携と各地区組織の活性化を目的とし、地区別支部長会議及び実務研修を2月に実施する。
(7) 雨水会支部長研修会	本部主催で全国各地の支部長の参加による会議及び実務研修を9月に開催する。
(8) 東洋大学懇談会での協働	大学主催による東洋大学懇談会(2022年度より父母懇談会から名称を変更)の実施に際し、雨水会本部及び各支部が実施運営に協働(協力支援)することを本部事業の一環とする。 東洋大学懇談会の実施については、関東地区の各支部(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県)の会員に対しては、学生が在籍する各キャンパス(白山、川越、板倉、赤羽台)で6月に実施する。大学教職員による履修成績、学生生活及び就職の支援体制についてWEBを利用して説明する他、個別面談(9月含む)を実施する。2023年度は、関東地区以外の各支部の会員について、全国17会場にて6月～8月に実施する。新型コロナウイルスの感染状況を考慮のうえ、実施の可否については、4月中までに決定し、5月上旬に通知する予定である。
(9) 会員の集い・就職フォーラム	会員相互の親睦を深め、大学生の就職状況の情報を提供することを目的とし、11月中旬に実施する。 講演実績のあるコーディネーターに依頼し、就活時の親としての接し方等について講演する。 就職講演終了後、引き続き、卒業生にご協力いただきパネルディスカッションも実施する。 また、学生の課外活動の発表の場として、学生団体の活動の様子を父母へ披露する。 コロナの状況、父母のご都合が悪い場合、遠方から大学へお越しになる事が出来ない方の事を考慮し、オンライン配信を検討中である。 また、実施当日の様子をオンデマンド配信する。 なお、遠隔地支部会員の参加者については、規定額の交通費を補助する。
(10) 地区別支部長懇談会	対面式の支部総会がコロナ禍で実施出来なかった場合は、地方役員の声を直接聞く場として実施する。

2. 学生支援諸制度

(1) 奨学生制度	① 家計急変者対象(従来の雨水会奨学金) 東洋大学独自の奨学金申請が間に合わなかった学生で、急な支援を要する場合。 (@3万円×6ヶ月×5名=90万円) ② 経済支援奨学金 ※大学と協議のうえ実施する。(3,750万円)
(2) 学生の課外活動促進(600万円) 全キャンパスの学生団体を対象として検討する	① 学生の課外活動に係る支援及び表彰 学生部と連携して、学生団体及び個人の活動を対象とし、顕著な活動が認められ大学から特段の要請があった場合に広く援助又は表彰する。 ② 文化系サークル活動促進援助 本学の運動部以外の文化系サークル活動に関して、全国の地方都市で行われる大会や発表会への参加等、地方における課外活動の促進を図るために援助を行う。 ③ 正課外教育活動参加促進援助 正課外教育について、全学的な関心と参加促進を図り、大学が指定するイベントに参加する学生に対して援助を行う。 ④ 学生団体による応援・広報活動の支援 応援や広報活動等を行っている公認学生団体に対し、交通費や運搬費、ユニフォーム購入費用等を支援する。
(3) 国際化の支援	大学の国際化の支援の一環として、外国人留学生と日本人学生のコミュニケーションとグループワーク等に関するイベントへ支援を行う。大学の交流イベントを協賛、補助する形で外国人留学生が興味を持っている日本の衣食住、文化芸術に関する講演会、ボランティア体験等の実施等を行う。(150万円)
(4) 就職活動支援	① ビジネススーツ等購入支援(紳士服販売業者と提携して無料配布) 予算に限りがあることを考慮して、経済的困窮学生を対象を限定し、奨学金の補てんを趣旨としたビジネススーツを含む就活グッズの購入負担の補助を行っている。支援対象学生の選考が難しいことを踏まえて、奨学金受給者のうち、大学から推薦される3年生(会員のみ)を対象としている。周知の時期や広報の仕方を併せて検討する。(550万円) ② 就活グッズの作成配布 就職活動を行う学生全体に対して、就職活動に活用できるグッズ(大学独自の履歴書など)を作成して配布する。(100万円)
(5) 学生の食育支援	食育の一環として、大学と協賛し、全学生を対象とした100円ランチの提供を行う。(1,000万円)
(6) 東洋大学社会貢献センター 学内講座雨水会援助制度	2016年度より開設の東洋大学社会貢献センター学内講座実施に伴い、申請に基づき広く褒賞金を支給する。支給にあたっては、他学部との褒賞金とは重複しないものとし、予算の範囲内で支給する。(60万円)
(7) 弔慰金制度	不測の事故等で会員、会員の配偶者および学生が死亡した時、その遺族に対して弔慰金を支給する。(90万円)

3. 雨水会費の徴収・支部運営費の交付

(1)雨水会費の徴収	雨水会費は、1部学生については大学に代理徴収を依頼し、入学時及び毎年授業料払込時に5,000円を徴収し、2部学生については任意加入とし、本部において徴収する。(13,250万円)
(2)支部運営	①支部運営費は、支部所属会員数1人当たり1,000円を乗じて算定する。さらに、会員が1,000名未満支部については、100,000円を加算し、本部から年1回6月に各支部に交付する。 さらに、会員数200名未満支部については、支部からの申請に基づき増額50,000円の援助を行う。(3,460万円) ②支部運営費については、主に講演会、校舎見学等支部開催事業(支部行事)に対して充てられるものとする。 支部会員全体を対象とした支部主催行事で就職説明会、文化・体育活動の応援会、演奏会また、父母・保護者間の連携を密にするための研修会、交流会等を開催する場合、支部からの申請に基づき行事毎に10万円の範囲内で年度2回を上限に援助する。 ただし、申請支部の繰越金等を考慮し、援助の有無又は援助金額について審議する。

4. 就職関係

就職関連講演会等の実施	本部または各支部で実施する就職関係講演会等行事については、6月から実施する東洋大学懇談会の内容を踏まえた上で、実施時期、講演者、講演内容を検討する。 行事内容の策定及び講演者の選定については、父母のニーズに合致しているか等効果を考慮するとともに、実施に際しては、雨水会事務局を通じて大学における就職関連担当事務局(就職・キャリア支援部等)の意見及び推薦を踏まえることとする。
-------------	--

5. 大学事業(行事)に対する支援協働

会則に定める「目的及び事業」を達成するために、大学事業については積極的に援助・協働することを基本としている。

(1)東洋大学懇談会および雨水会支部総会同日開催に伴う経費	2015年度より大学主催の東洋大学懇談会(2022年度より名称変更)の実施に際し、雨水会本部と各支部が実施・運営に関して、今年度も引き続き大学との協働(連携・協力)体制とする。特に、全国会場で実施する、地区別東洋大学懇談会ならびに雨水会支部総会の実施経費のうち、会場費等については、大学事務局との協議の上、予算の範囲内で雨水会が負担する。(1,200万円)
(2)父母専用相談窓口については指定メール先への申請に基づき回答へ変更する。	2015年度から開設された、父母専用相談窓口(父母ホットライン)の運営について、大学と協働して推進する。
(3)「井上円了が志したものは」に対する援助	井上円了記念学術センター内の実行委員会に本部役員が構成員として任用されており、実施企画について、その運営費の一部を援助する。(190万円)
(4)卒業記念品	毎年度、卒業記念品購入代金として大学、校友会、本会の三者による分担金を支出する。記念品目については、関係部署と事前に協議する。(180万円) 卒業式当日、各キャンパスにフотスポットを設置する。(530万円)
(5)全学的な行事に対する援助	既存の4校舎における大学祭(白山祭(白山)、こもれび祭(川越)、雷祭(板倉)、INIAD-FES(赤羽台))及び2校舎におけるスポーツ大会(川越、板倉)について、援助金を支給する。(280万円)
(6)留学生団体等に対する援助	大学の国際化が求められている今日、大学の活性化にも繋がる留学生連合会等団体の活動に対し援助金を支給する。(10万円)
(7)学部行事等(ゼミナール単位での取組み含む)に対する援助	学生を対象とした学部行事・コンクール等において、優秀者に「雨水会会長賞」を授与し、ゼミナール単位における社会貢献活動、卒業生実務担当者と在校生の連携協力に対し援助金を支給する。(50万円)
(8)会長施策重点支援事業	学生により近いところへの支援事業として、会長が考案した内容について、常任理事会での承認を得て支出するものとする。(100万円)
(9)箱根駅伝応援バスツアーを本部事業(本部主催)として実施する。	(100万円)

6. 大学及び校友会行事等に対する協力

大学及び校友会が年間行事として実施する祭事等に、雨水会代表者を派遣する。

7. 広報活動

会員相互間の連絡を密にすることを目的として広報活動を実施する。

(1)雨水会本部発行物	①新入生対象の「会員のしおり」 — 年1回(2023年5月発行予定) ②全会員対象の「会報東洋」 — 年1回(2023年5月発行予定) ③本部役員及び支部長対象の「雨水会ジャーナル」 — 年2回(2023年4月・10月発行予定)
(2)雨水会ホームページの運営	本部独自のホームページを2018年度創立60周年記念事業の中で新規開設をした。2020年度はコロナ禍で支部総会はホームページを活用して実施。東洋大学ホームページとのリンクを確保して、雨水会と大学との情報の共有化を図ると共に雨水会ホームページにおいて、各支部で行事計画及び報告を紹介するなど、支部内及び支部間の情報の共有化により、支部活動の活性化を図る。会員に対し、いち早く身近な情報を発信できることから、業者に運営管理の委託をしている。(250万円)
(3)本部及び支部活動促進のためのグッズ作成(当年度支部役員就任者への配布)	本部及び支部活動促進のためのグッズを作成(当年度支部役員就任者への配布) 当年度支部役員就任のモチベーションを高め、支部活動の活性化に寄与することを目的に作成する。 配布に際しては、事前に目的を会員に周知徹底すると共に、配布基準に基づき会員間の平等性を確保する。また、支部役員就任者へスポーツ東洋を年5回配付する。(400万円)
(4)会員の満足度向上と帰属意識昂揚のための施策	①社会貢献センター・エクステンション講座(公開講座)受講者への補助 雨水会員の文化活動の促進、また公開講座に参加することで会員に大学を知っていただく一助にもなることから、本部より公開講座を受講した会員に対して受講料の全額補助を行う。(100万円) ②支部総会等雨水会主催行事への会員の参加を促進すべくグッズを配布する。内容は、応援グッズなど活動促進に資するものとして作成する。 可能であれば大学と協働で作成して、効率的な作成を図り、併せてコストの低減を図る。(400万円)

8. 会員情報管理システム

雨水会本部では、大学の教務部門の情報を利用し、会費納入処理等を行っている。

会員情報管理システムは、2014年度からは、卒業生・雨水会連携推進課に依頼することとなっている。また、支部要請の宛名ラベルを本部で作成提供できるようになっている。

情報の使用・管理については、「個人情報保護法」に基づき適切に管理されるよう、引続き支部でのご協力をお願いする。

大学と「個人データの提供に伴う個人情報の機密保持及び安全管理に関する契約書」を締結し、申請に基づき取り扱っている。なお、ホームページについては、大学側ホームページにリンクし、最新データを随時加えることによって、情報化を促進する。

9. オンライン会議システム(仮)新規

新型コロナウイルス感染症の広がりにより、本部活動のみならず支部活動へも支障を来したが、大学内のオンライン会議システムを利用することで円滑な会議等を行うことができた。しかしながら、大学内のシステムは本部活動に限定されることから、支部活動に利用できるシステムの導入を考える。ビデオ会議システムは支部内での役員会に遠隔地の役員も参加しやすく、また役員募集のすそ野を広げるとも考えられることから、雨水会としての導入を検討する。

II. 支部事業関係

各支部が中心となって主催する行事等については、「支部主催行事等援助金」支給基準に基づき援助を行う。各行事等の名称と実施手続き等については次のとおり。

(1)支部総会	2015年度より実施、大学主催の東洋大学懇談会開催に伴い、関東地区以外の支部については、原則として支部総会開催は、大学主催の東洋大学懇談会開催日と同日の同じ会場で実施する(一部都合により東洋大学懇談会と別日程で支部総会を開催せざるを得ない場合は、雨水会本部と相談の上、別途支部において、別日程で支部総会を開催する場合がある)。また、関東地区の支部については、従来どおり支部総会は別途、別日程で独自開催する。懇親会実施に際し、本部からの支部役員獲得の支援として、支部からの申請により参加者一人当たり2,000円の援助を行う。(一学生につき父母及び保護者2名参加者まで)なお、役員をみの懇親会開催については、援助対象外とする。2023年度については、地区別東洋大学懇談会と同時開催できない支部もあり、支部総会への出席率を上げるため、雨水会本部として協力を要する。
(2)就職説明(懇談)会	各支部において、独自で就職説明(懇談)会を計画した場合は、「雨水会支部関係業務等処理手順」に基づき、雨水会事務局へ申請書を提出する。支部からの開催要望に基づき、大学側と調整し支部へ報告する。
(3)校舎見学会	4校舎の東洋大学懇談会時及び本部主催事業「会員の集い・就職フォーラム」(白山校舎)の実施に際して、校舎見学を実施する。支部単位での個別の校舎見学についても受付けることとし、校舎案内者を派遣依頼要請する関係から、就職説明(懇談)会同様の手順で申請を受付ける。赤羽台キャンパスについては、WELLB HUB-2(ライフデザイン学舎)のみ校舎見学を受付ける。
(4)講演・研修会等	講演・研修会等の講師について、東洋大学の教職員を講師として希望する場合、支部からの申請に基づき、本部にて担当課と調整の上派遣する。

III. 雨水会収支関係

1. 収入について

2023年度の雨水会費は、大学に委託徴収を依頼している。

雨水会費5,000円

第1部の入学生及び在学生から徴収する。なお、留学生は除く。(26,150名・留学生は1,500名を見込)

第2部の入学生及び在学生からは、任意加入として本部が徴収する。(350名)

2. 支出について

(1)事業費	①本部関連事業の主要行事である、支部総会、会員の集い・就職フォーラム、就職説明(懇談)会、会報発行等については大学の関連部署と協働を図り、予算を執行する。 ②支部関連事業の支部主催行事についても規程に準じて援助し、各支部の活性化を図る。 ③学生協力費については、前年度どおり本会の目的に基づき、大学祭、スポーツ大会、クラブ・サークル等の援助金を大学の関連部署と連携して支給する。 ④人件費は、事業費関連事務に伴う人件費を、労働契約書に基づき支出する。 なお、事務局嘱託職員の夏季及び冬季手当については年度ごとに労働契約で決定するものとし、2023年度は前年度と同様、夏季及び冬季一時金として4.0ヵ月分を計上した。 ⑤2023年度新規施策事項については、必要な経費を計上した。
(2)管理費	①会議費は、各会議等に要する旅費交通費等である。 ②通信費・印写費・支払手数料・備品費等事務に要する費用を科目ごとに計上している。 ③人件費は、事業費関連事務以外の事務に伴う人件費を、労働契約書に基づき支出する。 なお、事務局嘱託職員の夏季及び冬季手当については、(1)④事業費記載の通りとする。 ④2023年度新規施策事項については、必要な経費を計上した。 ⑤予備費については、緊急支出として措置する。
(3)特定資産取得支出	周年事業に向けての準備積立金100万円を計上する。

2023年度予算書

2023年度一般会計収支予算書

自 2023年4月1日～ 至 2024年3月31日

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
雨水会費収入	132,500	事業費	172,404
雑収入	2	管理費	25,033
投資活動収入	-	投資活動支出	1,000
前年度繰越金	8,791	予備費	10,000
		次年度繰越金	△67,144
合計	141,293	合計	141,293

東洋大学懇談会は、東洋大学の主催行事であり、甫水会の協力のもとで各キャンパスにおいて、学部説明会・個別相談が実施されます。また、全国各地において東洋大学地区別懇談会が実施されます。地区別懇談会では、大学教職員による大学の現状説明や就職キャリア支援課による就職説明が行われます。



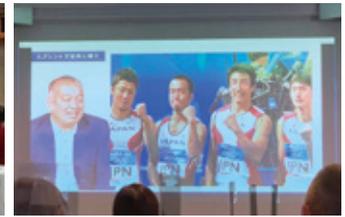
新潟会場



秋田会場



愛知会場



広島会場



福岡会場



鹿児島会場



富山会場



福島会場

東洋大学懇談会へ 参加いただいた 会員の声



- ・大学の様子などをわかりやすく説明していただき、遠方に住む保護者として安心しました。
- ・就職についてのお話、とても参考になりました。
- ・わが子と違う学部、学年の保護者の意見が聞けて良かったです。
- ・先輩保護者の方から情報を得るために参加し、お話が聞けるいい機会でした。

支部総会・支部イベント

支部行事

全国の支部において、支部活動の総決算として支部総会を年に1度開催しています。

支部総会は、東洋大学地区別懇談会が行われる地区については同日同会場で開催されます。そのほかの地区は、別日程で開催され支部会員相互の親睦を図る場となっています。



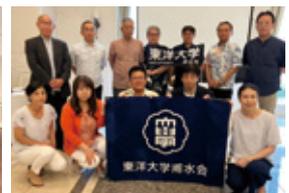
千葉東支部



宮崎県支部



徳島県支部



沖縄県支部



城西支部:哲学堂公園日帰り研修



埼玉支部:箱根駅伝応援



多摩支部:歌舞伎観劇



中央支部:雅叙園ランチ・百段階段見学



埼玉支部:横須賀バス研修



広島県支部:出雲駅伝応援

毎年、秋に白山キャンパスにて「会員の集い・就職フォーラム」を開催します。2022年度は、3年ぶりの対面開催となりました。

第1部では、「変わりゆく社会のモデルと今の就職活動への寄り添い方で大切なこと」をテーマに株式会社ソーシャルデザインング研究所 福島 直樹氏による講演会が行われました。

第2部は、2021年度の卒業生4名をお招きし、「就職活動を終えて～子から親へのメッセージ～」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

「会員の集い・就職フォーラム」にご参加の際、関東地区以外の遠方にお住いの会員の方には、在学中1回に限り交通費を補助します。また、参加できなかった会員の方のために当日の様子を後日オンデマンド配信しました。



受付



キャンパスツアー



オープニング グルービージャズオーケストラ 演奏



東洋大学学長 あいさつ



第1部 就職講演会



オープンチャットで質問受付



第2部 パネルディスカッション



その他 会場の様子

甫水会は、各キャンパスで実施される学園祭やスポーツ大会における学生主催団体に対する援助金の交付の他、体育系、文化系を問わず学生団体に課外活動に対する支援を幅広く行っています。また、大学の教育活動を充実させるために、学部学科主催のイベント・ゼミナール等の活動に対する支援や就職活動支援、学生の食育支援を行っています。



全日本大学相撲選手権



ゼミ発表会

浦水会簡易沿革

創立総会を
開催し発足

1959年
1月16日

会報「東洋」
創刊

1969年
6月

第1回父兄大会
(後の父母懇談会)

1985年
5月



2019年
1月
創立60周年

2009年
10月
第1回会員の集い・
就職フォーラム

1994年
1月
「父兄会」から
「浦水会」に名称変更

「浦水」とは、学祖井上円了先生の出
身地「越後の国、長岡西組浦村（現在
の新潟県長岡市）の「浦」を分散して、
部首の「氵」（サンズイの「水」と「浦」
を組合わせて浦水という雅号として使
用されていたものです。



※井上円了先生の押印で
「浦水井上氏藏」とあり
ます。

浦水会寄贈物件

白山

浦水の森



時計台



東洋大学のあゆみ



板倉



銘板（井上円了像）



銘板は各キャンパス
にそれぞれ設置され
ています。

朝霞



銘板（四聖像）

浦水会役員名簿

※2023年度本部役員は10月上旬浦水会ホームページにて掲載します。

[2022年度本部役員]

役職名	氏名	支部名	役職名	氏名	支部名
会長	久保 幸男	神奈川	理事・地区長(北海道)	平石 知輝	札幌・函館
副会長	濱田幾久子	高知	理事・地区長(東北)	三村 健治	福島
副会長	金沢 篤史	埼玉南	理事・地区長(関東)	黒田 清子	埼玉北
常任理事	寺田 信幸	大学推薦	理事・地区長(甲信越)	斉藤誠一郎	長野
常任理事	吉田 敦史	北海道	理事・地区長(北陸)	奥田 裕之	富山
常任理事	小原 都氏	岩手	理事・地区長(東海)	吉岡 庸斉	三重
常任理事	平澤 晴美	城北	理事・地区長(近畿)	家吉かずみ	和歌山
常任理事	宮崎 文	静岡	理事・地区長(中国)	岩本 英樹	山口
常任理事	打越 陽子	愛知	理事・地区長(四国)	篠永 誠司	愛媛
監事	山岸 弘	埼玉東	理事・地区長(九州)	水溜利江子	鹿児島
監事	平野 秀夫	千葉東			

[評議員]

会則第20条2項 (支部長)

支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名			
北海道	札幌	平石 知輝	千葉県	千葉東	田谷 勝彦	兵庫	木南 慎哉	
	函館	成田 直子		千葉西	久保俊一郎	和歌山	家吉かずみ	
	北海道支部	旭川	辻 博幸	東京都	城東	吉岡 肇	鳥取	岩森 邦彦
		林ノック	遠藤 義浩		城西	濃沼 純子	島根	—
	室蘭	中島 美郁	中央		鈴木 孝明	岡山	井上 鈴子	
	釧路	木村 美咲	城北		穂坂 秀人	広島	深水 真司	
		多摩	吉元 史昌		山口	岩本 英樹		
青森	工藤壮一郎	神奈川	吉田 功二	徳島	八田 和代			
岩手	鈴木 忠	新潟	小杉 美和	香川	山下 和代			
宮城	有明 毅	山梨	戸澤 智	愛媛	篠永 誠司			
秋田	真壁 善男	長野	斉藤誠一郎	高知	寄本 宏明			
山形	小山田 努	富山	奥田 裕之	福岡	才田 瑞紀			
福島	三村 健治	石川・福井	奥田 純一	佐賀	福地 弘寿			
茨城	飯泉 壮介	岐阜	服部 美波	長崎	江藤 一夫			
栃木	石山 光世	静岡	伊藤佐奈枝	熊本	福原 浩志			
群馬	持田 裕	愛知	古田 知子	大分	佐藤 文彦			
埼玉県	埼玉北	黒田 清子	三重	吉岡 庸斉	宮崎	黒木 善寿		
	埼玉中	谷地館智津	京都・滋賀	何澤 真麻	鹿児島	水溜利江子		
	埼玉東	宮本 貴美	阪奈	田中 良和	沖縄	根間 保成		
	埼玉南	石井 哲也						

会則第20条2項 (1,000名を超える支部)

支部名	氏名
茨城	高安 聡
埼玉中	清水真奈美
埼玉東	檉浦満里子
埼玉南	大竹 基之
千葉東	佐藤 秀人
千葉西	田嶋 亜季
城東	日高 陽子
城北	菊地 広恵
多摩	源 由美子
神奈川	甲良美香子

顧問

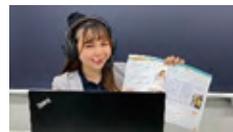
氏名
川本 正信



語学学習

各種語学講座を開講しています。東洋大学生以外の方も受講できます！

- ＜東洋大学生対象＞ 外国語資格試験（TOEIC、IELTS、TOEFL、英検、HSK（中国語））対策講座
Toyo Achieve English 英語講座
- ＜一般の方対象＞ Toyo Achieve English 英語講座
オンライン・対面受講が選べますので、遠方にお住まいでも大丈夫。
東洋大学関係者は **20%割引価格**でご提供



詳細はこちらから

学研災付帯学生生活総合保険

引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 22-T03191 2022年11月作成

学生様の万が一の対策に！

学生生活や日常生活全般に対応する保険です。申込受付中！



通院1日目から入院迄！
病気もケガも対象！

風邪、インフルエンザ、コロナ、皮膚炎、結膜炎、花粉症…



詳細はこちらから

東洋大学オリジナルグッズショップ

東洋大学オリジナルグッズをオンラインショップにて

販売しています。井上円了珈琲のご購入はこちらから！



詳細はこちらから

レンタルドレス (DRENI)

丸井のレンタルドレスをお得に利用できます！

東洋大学関係者に Web クーポン **2,000円**をプレゼント!!

クリーニング代、返送料**不要！ Web で簡単！**



詳細はこちらから

住宅案内

安心してより良いお部屋探しのお手伝いができるよう不動産会社と提携しています。

「仲介手数料不要」「仲介手数料 50%OFF」

「家賃は春から」など東洋大生だけの特典も！

オンライン
相談
できます



詳細はこちらから

自動車免許

東洋大学生限定特典付の自動車教習所を紹介しています。

セブンイレブンで使えるクーポン **2,000円**も!!

Web 申込でも、イトーヨーカ堂など商業施設でも申込可!!

計画的な自動車免許の
取得をお勧めします。



詳細はこちらから



東洋大学グローバルサービス株式会社

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 白山キャンパス 8号館 2階
Tel : 03-3945-4261 Fax : 03-3945-4265 Email: info@tugs.co.jp



～2023年春期公開講座のお申込み受付中～

春期は妖怪学・徳川家康・源氏物語など20以上の講座を開講しています。講座は対面型、Web型、ハイブリッド型で開講しており、一般の方はもちろん本学在学学生・卒業生、他大学生など、どなたでもお申込みいただけます。

また新たな取り組みとして、**2023年度において雨水会会員はトライアル期間となり、すべての講座において受講料のお振込は発生いたしません**(※)。この機会に大学で新たな学びを始めてみてはいかがでしょうか。皆さまのお申込みをお待ちしています。

(※) 注意事項

- ・講座申込みにあたっては、専用サイトへの会員登録及びWeb講座申込はパンフレット記載の手順に従い必要となります。
- ・本取り組みの詳細、及び雨水会に関する事項については本学雨水会ホームページをご確認ください。
- ・お申込みの際は必ずパンフレットの注意事項をご確認ください。
- ・お申込み後は、注意事項にご同意いただいたものとしてお取扱させていただきます。

東洋大学社会貢献センター 公開講座TOPページ

<https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/csc/koza/koza/>



東洋大学オリジナルグッズのご案内

入学・卒業の記念に、ご進物用に、応援グッズとしてなど、さまざまなシーンでご利用いただいております。ご注文はオリジナルグッズサイトよりお申してください。



テディベア



東洋大学陸上競技部長距離部門
×オレはオレ



クッキー



応援旗

マフラー
タオル



期間限定
TU マークラベル
地ビール

お申込は<https://www.toyocoop.jp/goods/>

東洋大学生協同組合



東洋大学雨水会ウィンドブレーカーのご案内

雨水会でウィンドブレーカーを作成いたしました。これを着て一緒に学生の応援へ駆け付けませんか？

※ご購入を検討される場合は在籍支部へご連絡をお願いいたします

ブレーカーシャツ ¥6,600(税込)

■素材…表地&裏地：ポリエステル100%

●サイズ

S	157～163
M	162～168
L	167～173
XL	177～183
2XL	182～188



学部・学科の再編について

学部・学科とキャンパスの再編により多層的・先端的テーマに取り組む学習と研究拠点を築きます。

2023年4月

福祉・健康スポーツ科学に関わる2学部5学科が赤羽台キャンパスに開設されました。

開設 福祉社会デザイン学部
社会福祉学科/子ども支援学科/人間環境デザイン学科

開設 健康スポーツ科学部
健康スポーツ科学科/栄養科学科

2024年4月

生命科学・食環境科学に関わる2学部6学科を朝霞キャンパスに集約

開設 生命科学部
移転 生命科学科/生体医工学科/生物資源学科

開設 食環境科学部
移転 食環境科学科/フードデータサイエンス学科/健康栄養学科

※学部・学科の名称は仮称であり、計画内容は変更になることがあります。

浦水会からのご案内

浦水会会員向けHPのご案内

保護者として知りたい情報をアップしています。

例えば…… 浦水会とは…?

支部行事に参加してみたい。

学生の大会情報を知りたい など

URL : <https://www.toyo-hosui.jp>



浦水会からのお願い

保証人住所変更手続きについて

転居等により保証人住所・電話番号を変更される場合には、ご子息・ご息女に東洋大学ホームページサイト『ToyoNet-G』(とよねっとジー)で変更手続きを行うようにお伝え下さい。

この手続きで「東洋大学懇談会」・「支部総会」・「会員の集い・就職フォーラム」・「会報 東洋」等浦水会及び会員の皆様が所属する支部からのすべての送付物のあて先に反映されます。

なお、浦水会では、住所変更手続きは受け付けられませんので、ご了承のほどお願い申し上げます。

教務担当窓口への提出 もしくは『ToyoNet-G』からの変更をお願い致します。